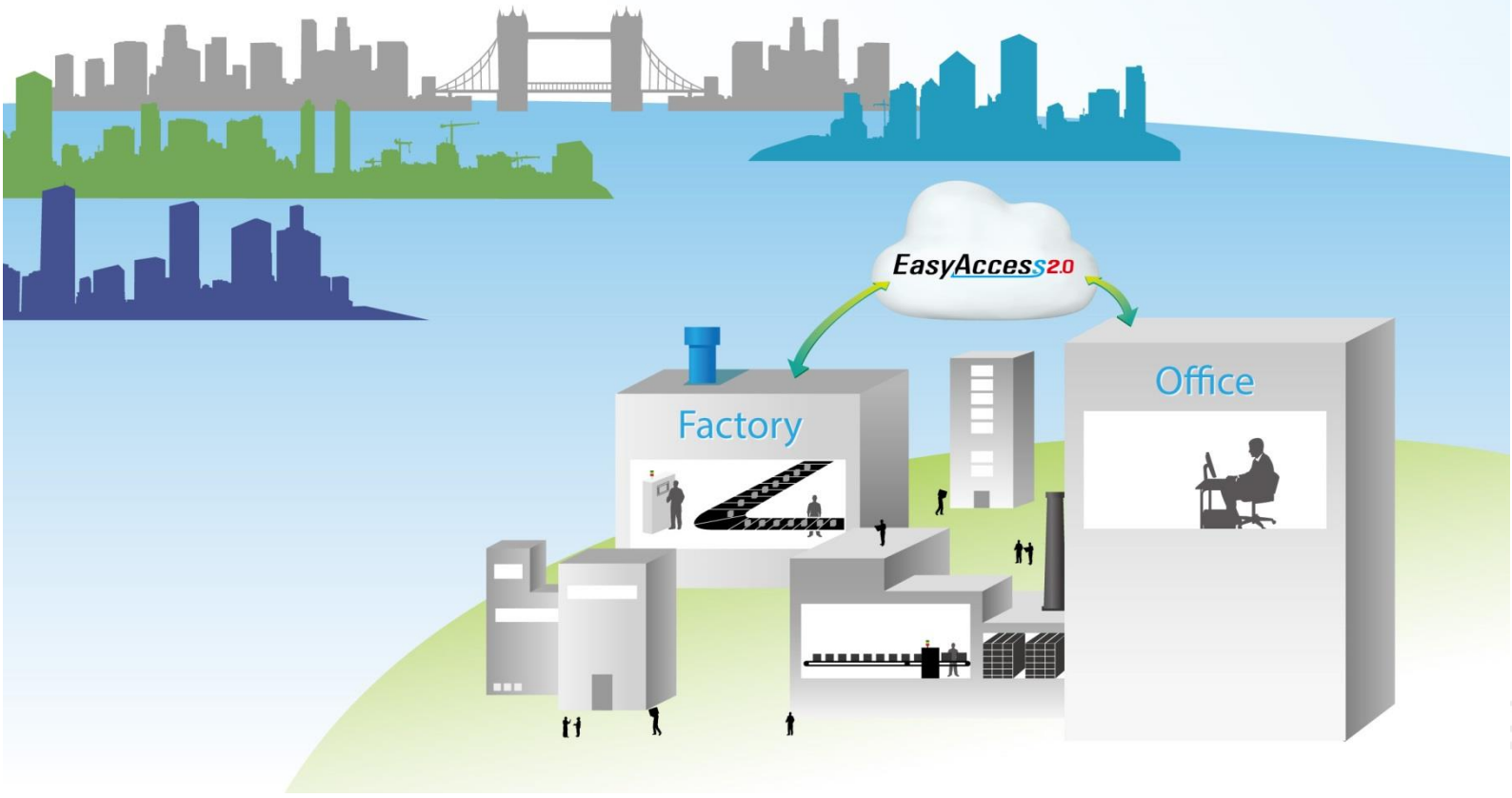
WEINTEK

EasyAccess 2.0

EasyAccess 2.0 ユーザーマニュアル

遠隔監視・操作



目次

1. EasyAccess 2.0 1
   - 概要 1
   - 特長 2
   - 動作環境 2
   - 仕様 2
   - 対応機種及び OS バージョン 2
2. 使い始める 3
   - インストール手順 4
3. 基本紹介 7
   - EasyAccess 2.0 とは 7
   - アクティベーション 8
   - ドメイン、HMI グループ、ユーザーとは 8
4. アクティベーションについて 10
   - ウェブでアクティベーションカードでアクティベーション 11
   - アクティベーションカードと PC Activator でアクティベーション 12
   - 正規販売店により、ハードウェアキーでアクティベーション 13
   - 体験版をアクティベートする 13
   - 体験版で正式版にアクティベートする 14
5. ドメインの参加 14
   - Session ID/パスワードについて 14
   - PC Activator を使用する 16
6. ドメインの作成・管理 17
   - ドメインの作成について 17
   - アカウントの管理 17
   - ユーザーパスワードの変更について 19
   - デバイスマネジメントについて 20
7. EasyAccess 2.0 サーバーへの接続方法 23
   - EasyBuilder Pro プロジェクト設定方法 23
   - トラブルシューティング 25
8. EasyAccess 2.0 PC クライアントプログラム接続方法 27
   - ネットワークアダプタについて 28
   - ログインについて 28
   - メイン画面について 28
   - 設定 30
   - HMI の状態及び設定 31
   - コネクション・ログについて 33

ネットワークトラフィック表示.....33
トラブルシューティング.....33
9. EasyAccess 2.0 を通してパススルー通信.....35
10. ネットワーク上でパススルー通信、リモート PLC を接続する (Ethernet パススルー)方法.....35
11. プロキシサーバーについて.....38
プロキシサーバー関連のシステムタグ.....39
12. Android 装置の上で EasyAccess 2.0 を使用する.....39
App をダウンロードする.....40
VNC/cMT Viewer をダウンロードする.....40
EasyAccess 2.0 接続を作成する手順.....40
VNC Viewer.....41
cMT Viewer.....41
13. iOS で EasyAccess 2.0 を使用する.....42
App Store からダウンロードする.....42
EasyAccess 2.0 接続を作成する手順.....42
VNC Viewer.....44
cMT Viewer.....44
14. PC Activator について.....45
HMI をアクティベートする.....45
HMI をドメインに参加させる.....46
OS バージョン.....47
15. プッシュ通知.....48
設定方法.....48
プッシュ通知を受信する.....49
言語設定.....49
WeChat.....50
16. トップアップカード.....52
トップアップカードをロードする.....52
トップアップカードリスト.....53
17. よくある質問.....54
EasyAccess 2.0.....55
モバイルアプリケーション.....57
その他.....58
18. Diagnosis.....59
19. HMI Info Collector.....59
20. 既知の問題.....61
21. 付録.....62

専門用語.....62
EasyBuilder Pro システムレジスタ 62
EasyAccess 2.0 プロジェクトテンプレート 64

1. EasyAccess 2.0

EasyAccess 2.0 は装置を遠隔操作、監視できる

概要

昨今、遠隔地にあるプログラマブル表示器(リモート HMI)を接続するには手間をかかります。リモート HMI を接続するには、セキュリティの問題だけでなく、事前に複雑なインターネットパラメータを設定する必要があり、多くのユーザー様に対しては難題でありました。設定に問題がなくても、接続できる装置も限られています。通常、一個のリモートネットワークは一台の HMI(プログラマブル表示器)にしか接続できません。現在、EasyAccess 2.0 はこれらの状況を大幅に改善しました。

EasyAccess 2.0 は、リモート HMI を接続することに斬新なソリューションを提供します。たとえ HMI が世界のどこにあっても、接続できます。EasyAccess 2.0 を使用すれば、インターネットを通し遠隔地にある HMI、または PLC を遠隔監視・操作し、即時に不具合を対応することができます。ユーザーは容易に HMI を接続でき、ローカルネットワークにいるような感じがします。それは、EasyAccess 2.0 が既にユーザーの代わりに複雑なネットワーク設定を完成し、それにセキュリティ対処も配慮したからです。それだけでなく、EasyAccess 2.0 も同一のネットワークを通し、複数の HMI 装置を接続できます。

EasyAccess 2.0 は一種のリモートサポートサービスでもあります。Weintek の HMI を搭載した装置を販売した場合、機器メーカーは EasyAccess 2.0 を通して、その HMI をリモート接続しリアルタイムに問題を確認できます。ただインターネットに接続すれば良いで、他の設定などは一切不要です。さらに、機器メーカーは HMI 内のプロジェクトを変更でき、或いは Ethernet を通しパススルー機能を通じて PLC を監視・操作、または PLC 内のプログラムを更新することさえできます。

特長

- 安全なセキュリティ環境
- 簡単な PC 設定だけでルータを設定不要
- 管理簡易、操作しやすいユーザーインタフェース
- パススルー通信及びプロキシサーバーをサポート
- モバイル端末をサポート

動作環境

- PC OS：Windows XP®, Windows 7®, Windows 8® (32 / 64bit), Windows 10® (32 / 64bit)
  (管理者権限が必要)
- EasyAccess 2.0 アクティベート済みの Weintek HMI (EasyAccess 2.0 対応機種)
- インターネット接続
- EasyBuilder Pro V4.10.05 以降または最新バージョン
- iPad: iOS® 7.0 以降または最新バージョン
- Android™: V4.1.2 以降または最新バージョン

仕様

制限	説明
データ転送率及びネットワークトラフィック	最初の 1GB の転送率は 100kB/s で、1GB の後には 5kB/s になります。ネットワークトラフィックは毎月の一日目で改めて計算されます。
一台の HMI がログインできるドメイン数量	1 個
同一時間で同一の HMI に接続できるユーザーの数量	1 個です。付録の“占有された”の説明を参照してください。
同一時間で同一のユーザーが接続できる HMI の数量	制限無し
通信ポート	HTTPS port (443)
Ethernet 対 Ethernet パススルー	IP×1 個

対応機種及び OS バージョン

下記は EasyAccess 2.0 を対応する HMI OS バージョンです。

機種	OS バージョン(それ以降のバージョンを含む)

eMT3070A	20140624
eMT3070B	バージョン制限無し
eMT3105,eMT3120, eMT3150 *	*20140701
MT8070iE, MT8100iE	20140626
MT8050iE, MT8071iE, MT8101iE	20140624
MT8090XE, MT8091XE	バージョン制限無し
MT8121XE, MT8150XE	20140624
mTV-100	20140815
cMT-SVR	20140715
他の機種	バージョン制限無し

*2012 年 6 月以前に購入された eMT3105、eMT3120、eMT3150 等の機種は EasyAccess 2.0 を対応しません。

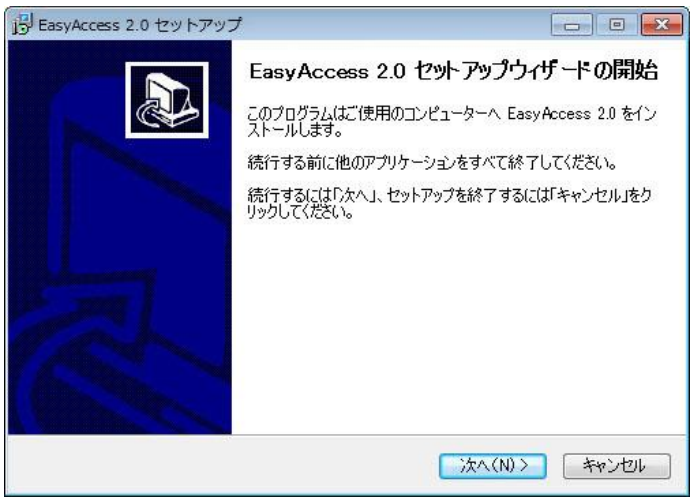
2. 使い始める

EasyAccess 2.0 を使用するには、以下の条件を満たす必要があります。詳細は関連の章節をご参照ください。

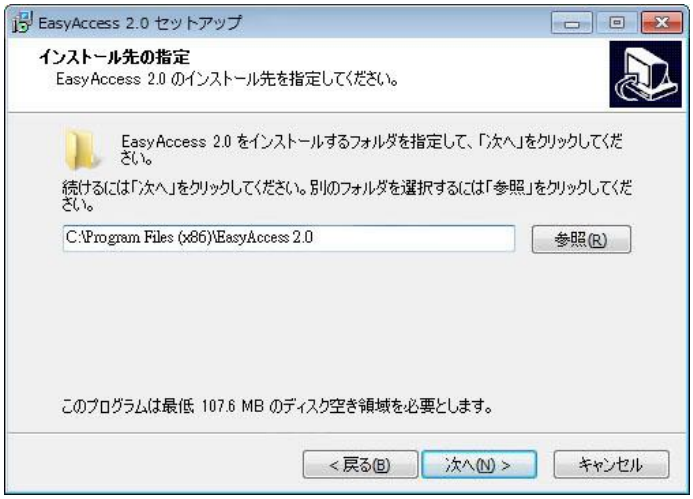
1. PC/Android/iOS に EasyAccess 2.0 をインストールします。
2. HMI をアクティベートする必要があります。
   アクティベーションについてまたは PC Activator についてをご参照ください。
3. HMI は少なくとも一個のドメインに所属する必要があります。
   ドメインの参加、ドメインの作成・管理、PC Activator についてをご参照ください。
4. HMI 上のプロジェクトをオンラインに接続できるように設定する必要があります。
   EasyAccess 2.0 サーバーへの接続方法をご参照ください。
5. ユーザーは少なくとも一個のアカウントが必要で、そのアカウントは少なくとも一個の HMI を接続する必要があります。
   ドメインの作成・管理をご参照ください。
6. EasyAccess 2.0 のインストールが完了しました。
   EasyAccess 2.0 PC クライアントプログラム接続方法をご参照ください。

インストール手順

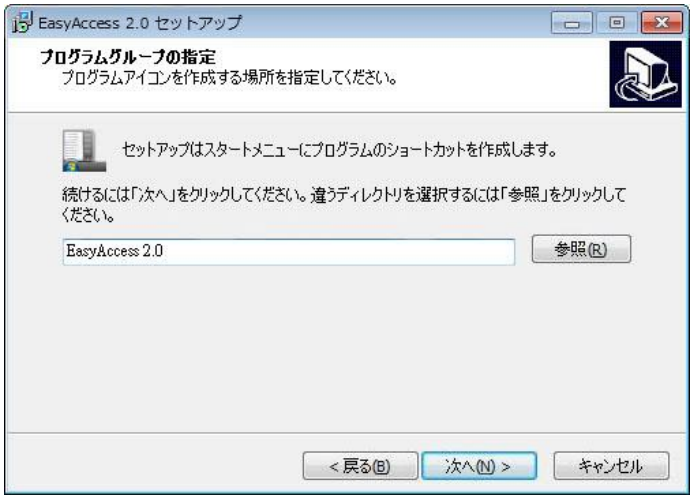
1. EasyAccess 2.0 のホームページから setup.exe ファイルをダウンロードしてオープンします。インストール過程に表示される言語を選択し、そして[次へ]をクリックします。もし PC 内には旧バージョンの EasyAccess 2.0 が存在している場合、それをアンインストールしてから、改めてインストールしてください。



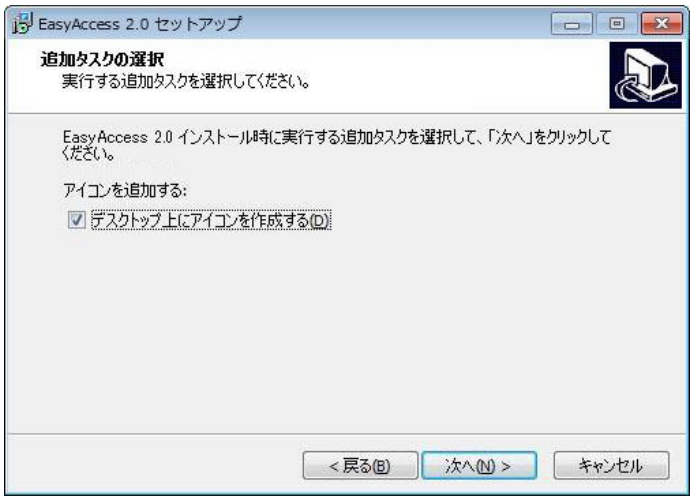
2. [EasyAccess 2.0]のインストール先フォルダを指定するか、またはデフォルトフォルダを使用します。そして[次へ]をクリックしてください。



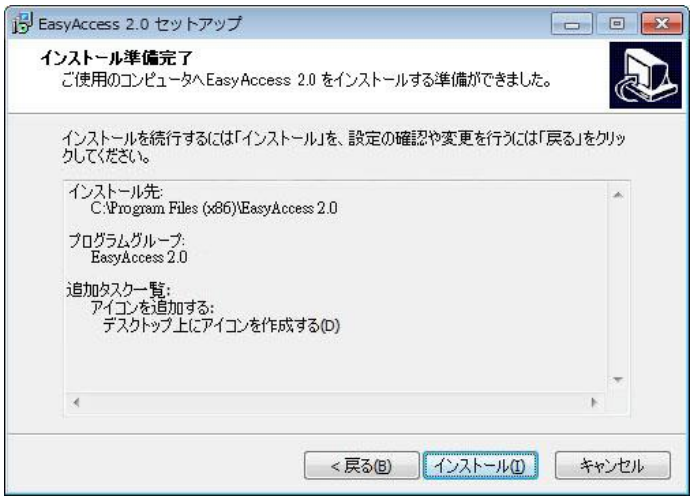
3. [プログラムグループの指定]ダイアログボックスにスタートメニューの登録場所を選択します。或いはそのままデフォルトフォルダを使用し、[次へ]をクリックしてください。



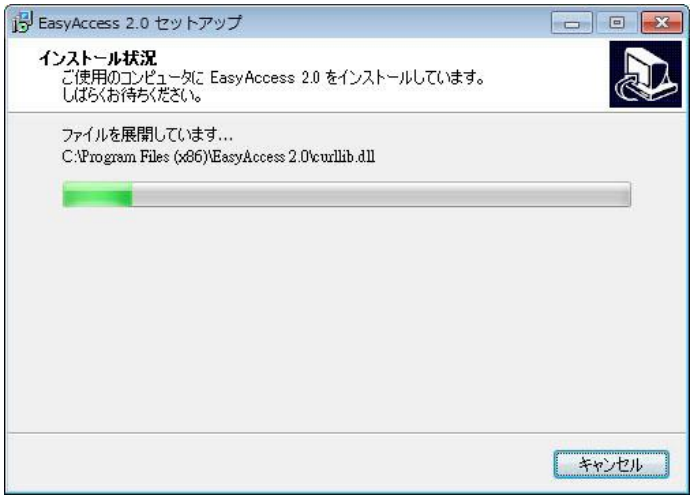
4. 実行する追加タスクを選択します。例えば：[デスクトップ上にアイコンを作成する]を選択し、そして[次へ]をクリックしてください。



5. 全ての設定内容は正確なのかを確認してください。変更する必要がある場合、[前へ]をクリックしてください。そのままインストール手順を始めたかったら、[インストール]を選択してください。



6. インストールしています。



7. [完了]ボタンを押し、インストールを終了します。

次のフォームでインストールフォルダ内の主なファイルを説明します：

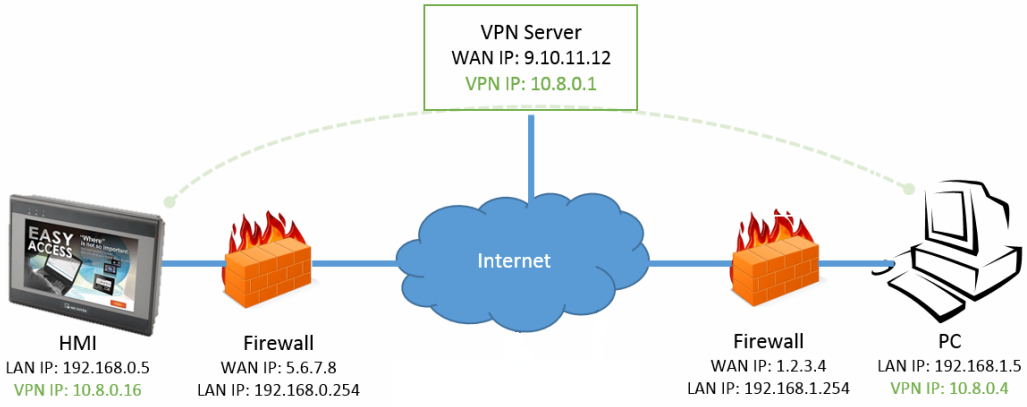
ファイル名	記述
cMT Viewer	cMT-SVR をアクセスするための PC アプリケーションソフトです。
EasyAccess 2.0	リモート HMI を接続するためのメインプログラムです。
gui_30	HMI Viewer を使用し、リモート HMI を遠隔監視・操作する時に用いられる重要なコンポーネントです。
PC Activator	ネットワークで EasyAccess 2.0 をアクティベートするためのアプリケーションソフトです。

3. 基本紹介

EasyAccess 2.0 とは

EasyAccess 2.0 は従来のリモートアクセス方法と大きく異なります。

従来のリモートアクセス方法 (下記アイコンでは青の線で表記する)	*EasyAccess 2.0 (下記アイコンでは緑の線で表記する)*
• 接続の過程では多くのファイアウォールを通す必要があり、複雑なネットワーク設定をしなければなりません。	• PC と HMI は両方とも指定の VPN サーバーに接続でき、または P2P を通じてデータを交換します。
• ネットワーク或いはルータの設定が定まられたので、IT 部門との調整は大切です。	• 別途ネットワークを設定する必要がありません。
• 一個の WAN IP アドレスは一個の装置のみ接続できます。	• 一個の WAN IP アドレスは複数の装置に接続できます。
• 二個以上のルータを接続している装置へ接続するのは難しいです。	• 複数のルータを接続している装置でも、簡単に EasyAccess2.0 に接続できます。



EasyAcces 2.0 ネットワーク概要図

アクティベーション

一部の HMI には EasyAccess 2.0 ライセンスが内蔵されていますが、ライセンス無し機種の場合、本機能を使用するには先にアクティベートしなければなりません。ライセンスを購入して使用する場合、そのライセンスで任意のサポートされている機種をアクティベートできます。しかし、一度 HMI をアクティベートしたら、その HMI に使用したライセンスを他の HMI に移すことができません。

ドメイン、HMI グループ、ユーザーとは

ドメインは HMI 管理のベースで、一個のドメイン(Domain)には複数のプログラマブル表示器(HMI)、HMI グループ(HMI Group)、ドメインユーザー(Domain User)が含まれています。HMI はまずアクティベーションを完了してから、ドメインに参加することができます。

ドメイン (Domain)、ドメイン管理者 (Domain Admin)
これは HMI 管理のベースです。一個のドメインには複数のユーザー(User)、HMI グループ(HMI Group)及びプログラマブル表示器(HMI)が含まれ、ただし、一台の HMI には一個のドメインにしか属されません。一個のドメイン(Domain)は唯一のドメイン管理者(Domain Admin)に管理されます。このドメイン管理者は https://account.ihmi.net にログインし、ドメイン内の情報を変更できます。このドメインアカウントは EasyAccess 2.0 クライアント側のプログラムにログインすることができます。

HMI グループ (HMI Group)
ドメインでの HMI は異なるグループに配属できます。グループ内のユーザーはグループ内にある全ての HMI を接続できます。ドメインユーザーが HMI を接続する権限を管理するには、この HMI グループがより便利な方法を提供しています。一台の HMI を一個以上のグループに配属することができます。

ユーザー (User)
ユーザーは EasyAccess 2.0 にログインするためのアカウントを有します。このアカウントでログインすると、アカウントに配属した HMI、及びアカウントに配属した HMI グループ内の全ての HMI を接続することができます。アカウントはドメイン管理者(Domain Admin)に管理されます。

EasyAccess 2.0 の HMI 管理の原則は：

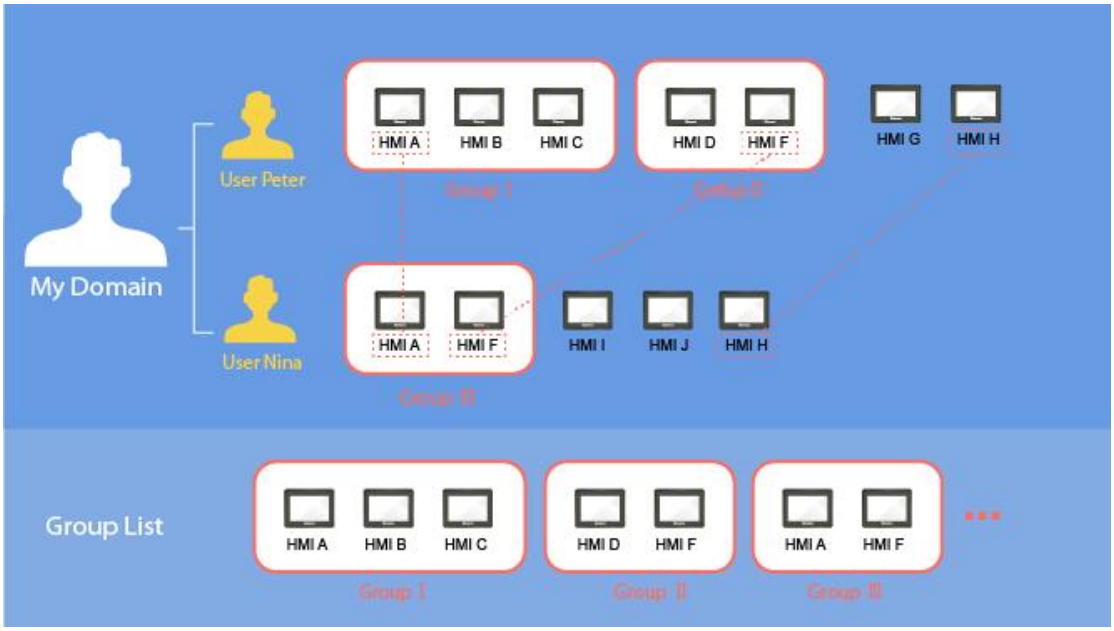
一台の HMI は、一個のドメインのみに所属される

例

下記の図面は一個のネットワークの例です。

- 本例の場合、ドメインは“My Domain”に命名され、二人のユーザー：Peter と Nina が含まれています。
- 本例では、HMI は HMI グループ(Group I, Group II, Group III…等)に配属されました。一台の HMI は一個以上のグループに配属されます。(例えば HMI A)
- 一人のユーザーは複数のユーザーに配属でき、それに所属しているグループにある HMI に接続できます。(例：ユーザー Peter と Group I)
- 各 User はそのユーザーに直接に配る HMI に接続できます。(例：ユーザー Nina と HMI J)
- HMI をグループに配属するか (例えば HMI A)、或いは HMI を直接にユーザーに配るか(例えば HMI H)を通し、複数のユーザーは同一の HMI に接続できます。

上記の配置は全部ドメイン管理者(Domain Admin)で管理します。ドメイン管理者を使用することにより、最大の自由さを運用でき、容易にドメインを管理できます。



My Domain 配置 (ドメインの例)

4. アクティベーションについて

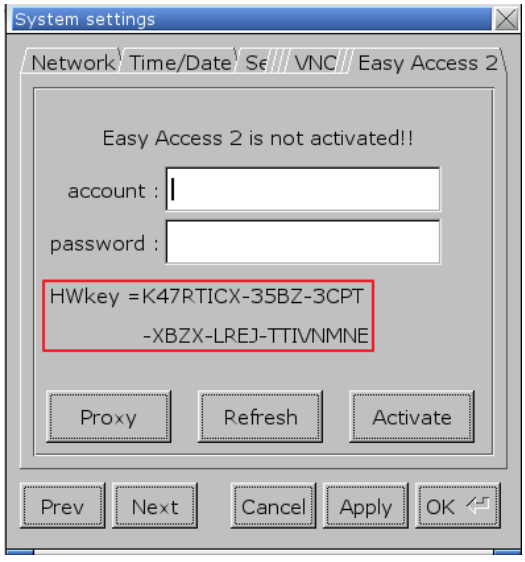
EasyAccess 2.0 を使用するには、HMI をアクティベートしてから、接続できます。System Settings » EasyAccess2 タブで HMI の状態を確認してください。

ご使用の HMI は既にアクティベートされた可能性があります。もしご使用の HMI がまだアクティベートしていない場合、下記の方法でアクティベーションできます：

- アクティベーションカードを使用し、ご自分でドメインのウェブページでアクティベートします。
- アクティベーションカードを使用し、ご自分で PC Activator でアクティベートします。
- Weintek 正規販売店によりアクティベーションを提供します。

体験版を通じて EasyAccess 2.0 を試用することができます。

いずれの方法にかかわらず、HMI のハードウェアキー(HW Key)が必要です。System Settings » EasyAccess2 タブ、またはシステムレジスタ LW-11210 で HW Key を確認してください。



このタブでは HMI のアクティベーション状態及び HW Key が表示される

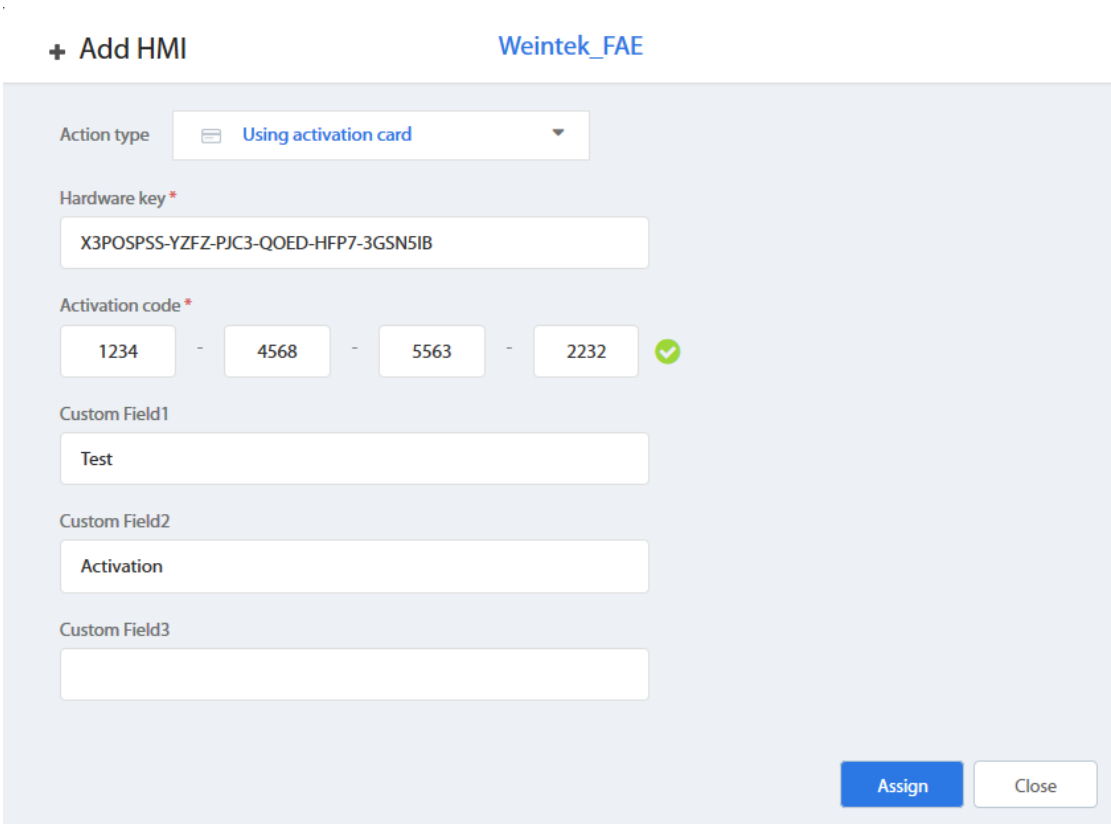
ウェブでアクティベーションカードでアクティベーション

アクティベーションカードをお持ちの場合、その上に記載されたアクティベーションコードでドメイン管理システムに HMI をアクティベートできます。

アクティベーションカード

1. ドメイン管理システムでご使用のドメインにログインします。
   グローバルサーバーをご使用の場合、URL は：https://account.ihmi.net
   中国サーバーをご使用の場合、URL は：http://www.easyaccess.cn
2. [Devices](装置)タブで[Add HMI](HMI を新規追加する)を選択し、[Action type](動作タイプ)で[Using activation card](アクティベーションカードを使用する)を選択してから、ハードウェアキー(HW Key)及びアクティベーションコードを入力します。

Note アクティベーションカードを使用してアクティベートする場合、その HMI をご使用のドメインに参加します。この場合、*ドメインの参加*の章節で説明した手順を省略できます。



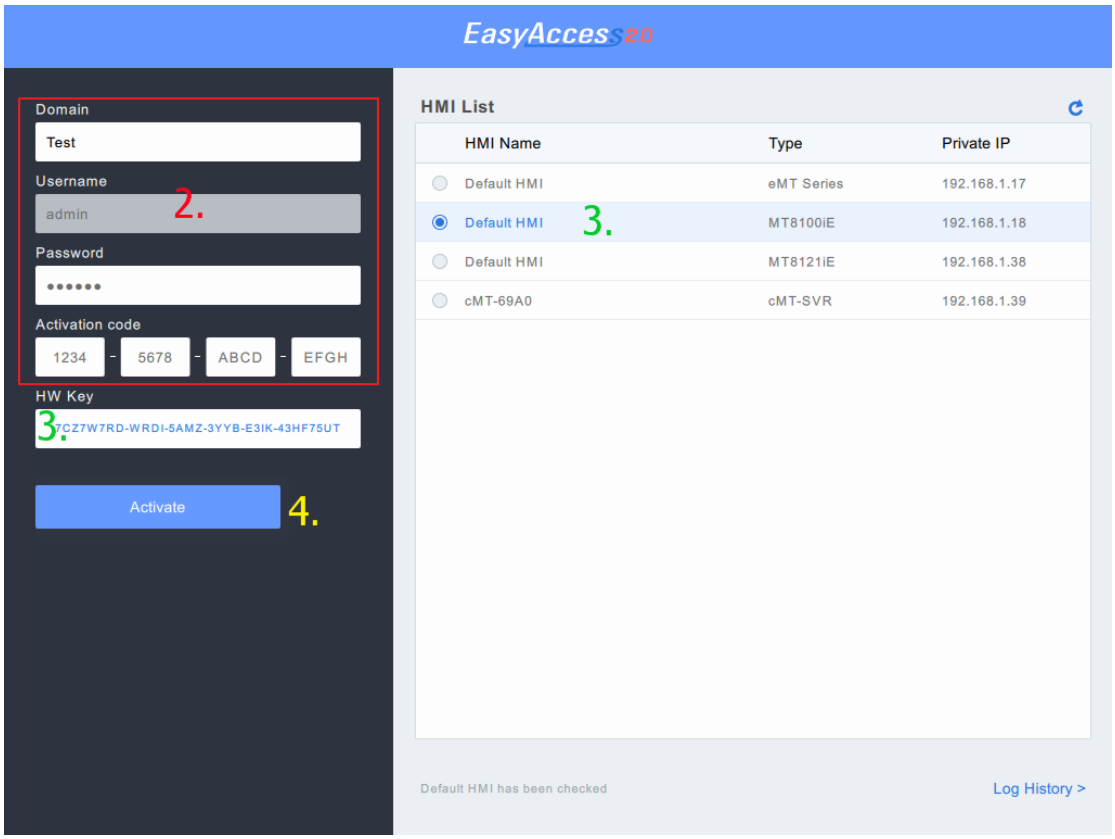
アクティベーションコードで HMI をアクティベートする

アクティベーションカードと PC Activator でアクティベーション

上記の方法以外、PC Activator というプログラムでアクティベーションのプロセスを完成できます。

1. PC Activator を実行します。
2. ドメイン管理者のログイン資料及びアクティベーションコードを入力します。
3. HMI リストに、アクティベートしたい HMI を選択すると、その HMI の HW Key が表示されます。
4. HMI のアクティベーション状態により、下方のボタンは “Activate” (アクティベートできる)と表示し、
   或いは “Already activated” (アクティベートされた)と表示します。
5. “Activate”ボタンを押し、アクティベーションのプロセスを完成します。

Note PC Activator をサポートするのかは、HMI のモデル及び OS バージョンに関係しています。PC Activator の説明に関しては、*PC Activator について*をご参照ください。



PC Activator

正規販売店により、ハードウェアキーでアクティベーション

直接に所持のハードウェアキーを販売店に伝え、アクティベートしてもらえます。

体験版をアクティベートする

各 HMI には、一回限定の 30 日間無料体験版が付いています。

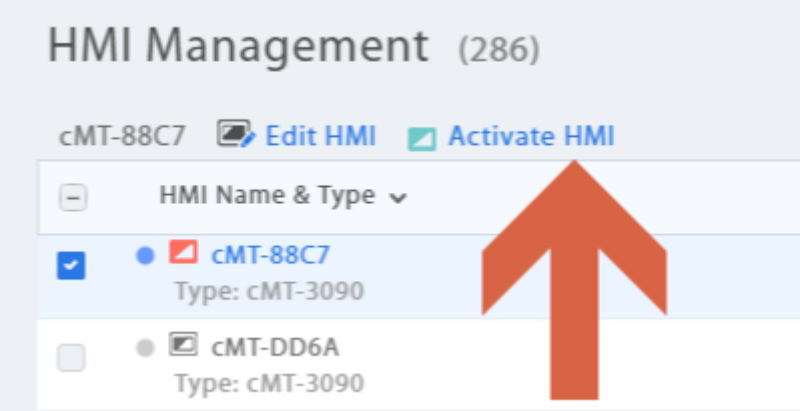
1. ドメイン管理システムでご使用のドメインにログインします。
   グローバルサーバーをご使用の場合、URL は：https://account.ihmi.net
   中国サーバーをご使用の場合、URL は：http://www.easyaccess.cn
2. [Devices](装置)タブで[Add HMI] を選択し、Action type で [30 days free trial]を選択してから、ハードウェアキー (HW Key)を入力します。

Note 30 日間体験版がアクティベートされた期間内で、HMI はご使用のドメインに縛られ、ドメインから削除する、または他のドメインに移転するには、正式なアクティベーションコードが必要です。

体験版で正式版にアクティベートする

体験済み、または体験期限が過ぎた HMI には、Activation code(アクティベーションコード)でアクティベートされることができます。

HMI の所在ドメインにログインし、[HMI] » [HMI 管理]をクリックし、当該 HMI をアクティベートします。



5. ドメインの参加

EasyAccess 2.0 を使用するには、まず一台の HMI を一個のドメインに配属する必要があります。

アクティベーションカードを使用しアクティベートした場合、その HMI は自動的にアクティベートする時にいたドメインに参加されます。
もしアクティベートした HMI は現在、まだどのドメインにも所属されていなかったら、HMI をオンラインに接続すると、その HMI をドメインに参加させるための Session ID 及びパスワードが取得できます。

EasyAccess 2.0 サービスでは、一台の HMI は一個のドメインのみ所属されます。よりまして、一旦 HMI をドメインに参加させた後、また他のドメインに参加させることができなくなります。たとえ他のドメイン管理者が同じの Session ID 及びパスワードを使用しても、その HMI をドメインに参加させることができません。HMI を他のドメインの所属に移したい場合、元のドメインから削除する必要があります。それでこそ新しい Session ID 及びパスワードがもらえ、その HMI を他のドメインに参加させることができます。

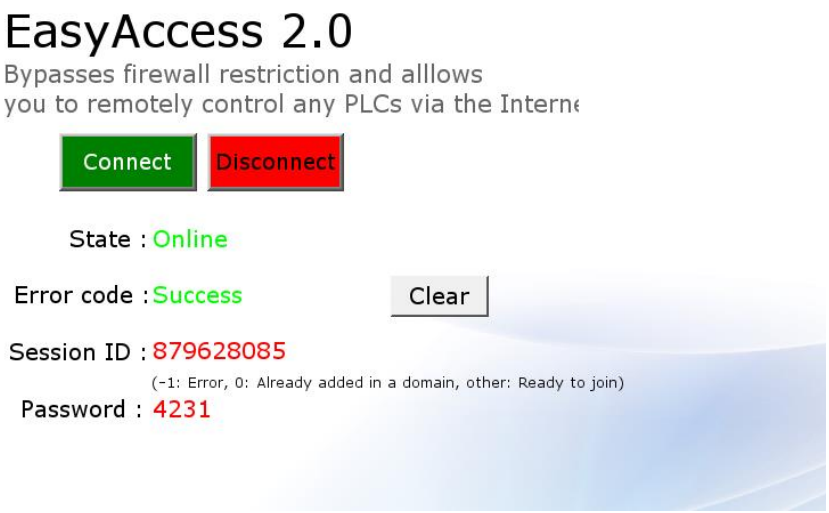
Session ID/パスワードについて

Session ID/パスワード取得するには？

EasyAccess 2.0 サービスでの各 Session ID 及びパスワードは、それぞれ一台ずつの HMI に独占され、それにその情報を取得するには、HMI をオンラインに接続する必要があります。

1. まず、EasyBuilder プロジェクトを作成し、ダウンロードしてください。システムレジスタ LW-10821 から LW-10827 で Session ID 及びパスワードを表示し、そして LW-10820 で HMI の接続をコントロールします。**以上の設定は全部、サンプルプロジェクトで完成できます。(第 76 ページ)**
2. LW-10820 を ON に設定します。
3. 接続が成功したら、HMI には Session ID 及びパスワードが表示されます。

詳細な説明は、*EasyAccess 2.0 サーバーへの接続方法*をご参照ください。

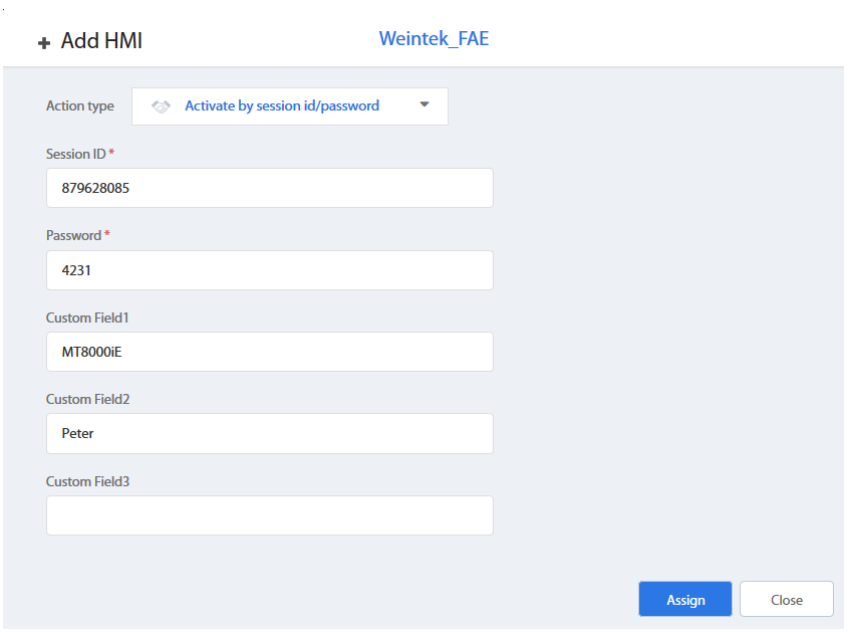


Session ID/Password を表示するプロジェクト

Note プロジェクト無しの状況下、EasyWatch を使って、Session ID/Password を探し出すことができます。EasyWatch に通し、ユーザーは PC から Ethernet に通じて HMI、或いは PLC を監視することができます。EasyWatch の使用方法に関して、EasyBuilder Pro ユーザーマニュアルの関連章節をご参照ください。

Session ID/パスワードを使用し、HMI をドメインに参加させる

ドメインの設定ページに Devices(装置)タブを選択し、Add HMI ボタンをクリックし、Session ID 及び Password(パスワード)を入力します。必要であれば、関連の備考を記入できます。



Session ID/Password を使用し、HMI をドメインに参加させる

PC Activator を使用する

PC Activator も HMI をドメインに参加させるプロセスを実行でき、それに Session ID/パスワードが必要ありません。使用方法については、*PC Activator について*をご参照ください。

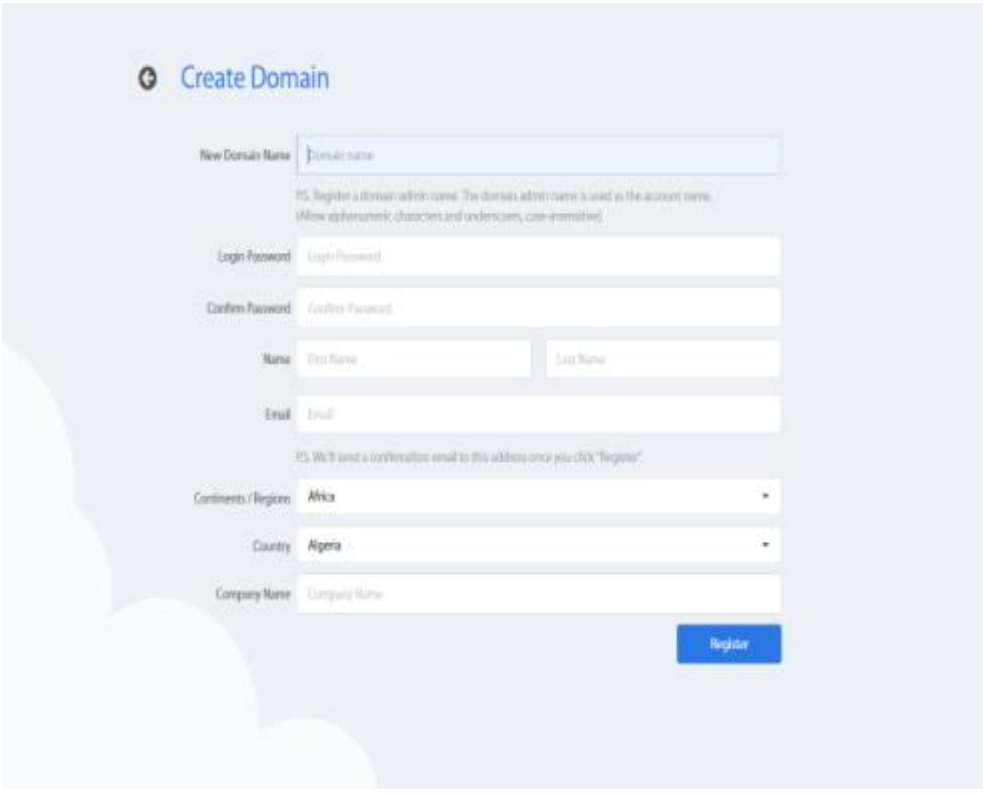
6. ドメインの作成・管理

https://account.ihmi.net/からドメイン管理システムに入ります。
グローバルユーザー：https://account.ihmi.net
中国ユーザー：http://www.easyaccess.cn

> **Note** プロジェクトの設定は、使用するドメインに影響を及ぼす可能性があるので、サーバーを選択する時に、関連設定をご留意ください。

ドメインの作成について

どのユーザーでも、一個の有効なメールアドレスを提供すれば、無料で一個のドメインを新規作成できます。

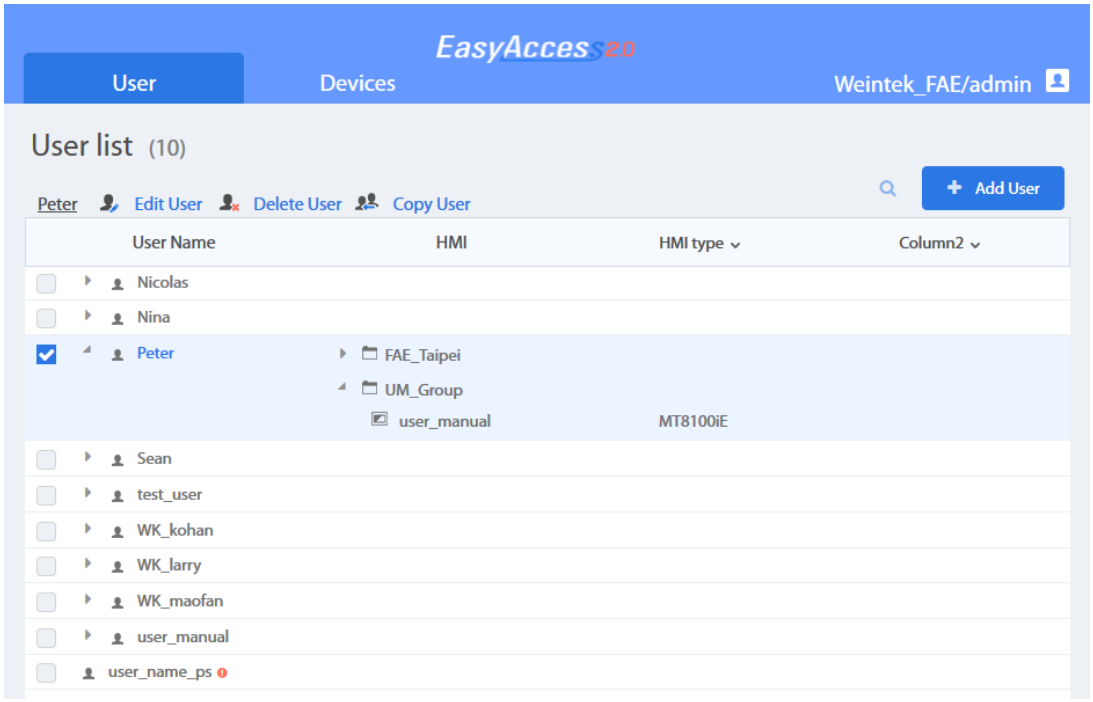


ドメインを作成する

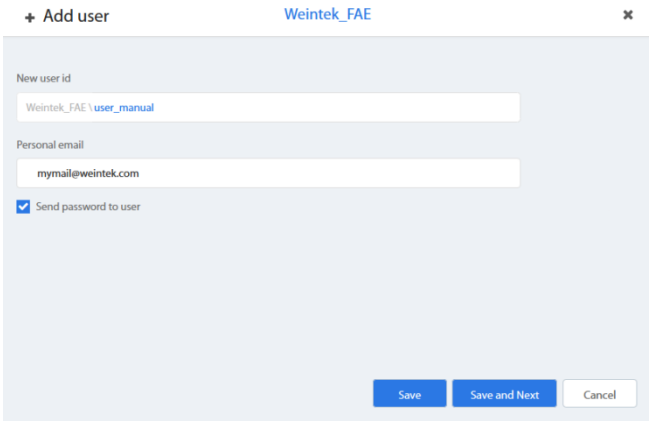
アカウントの管理

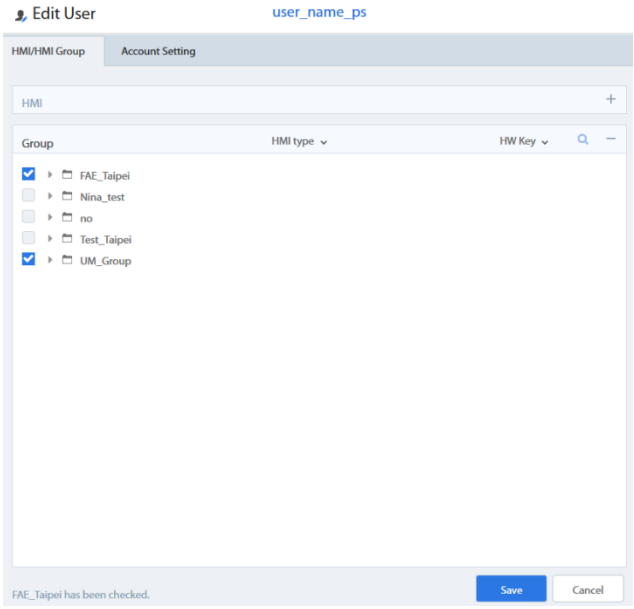
ユーザーリストには、ドメイン内の全てのユーザー及びその情報が表示されます。このリストにはユーザーが HMI を支配しているのか、またはユーザーがどの HMI グループに所属しているのかが表示されます。本ページの中で、ドメイン管理者は下記の動作を取り、ユーザーを管理することができます：ユー

ザーを新規追加、ユーザー資料を編集、ユーザーを削除、ユーザーをリストにコピーすることができます。もしドメインに大量のユーザー資料が含まれている場合、サーチツールを使って特定のユーザーを検索できます。



ユーザーリスト

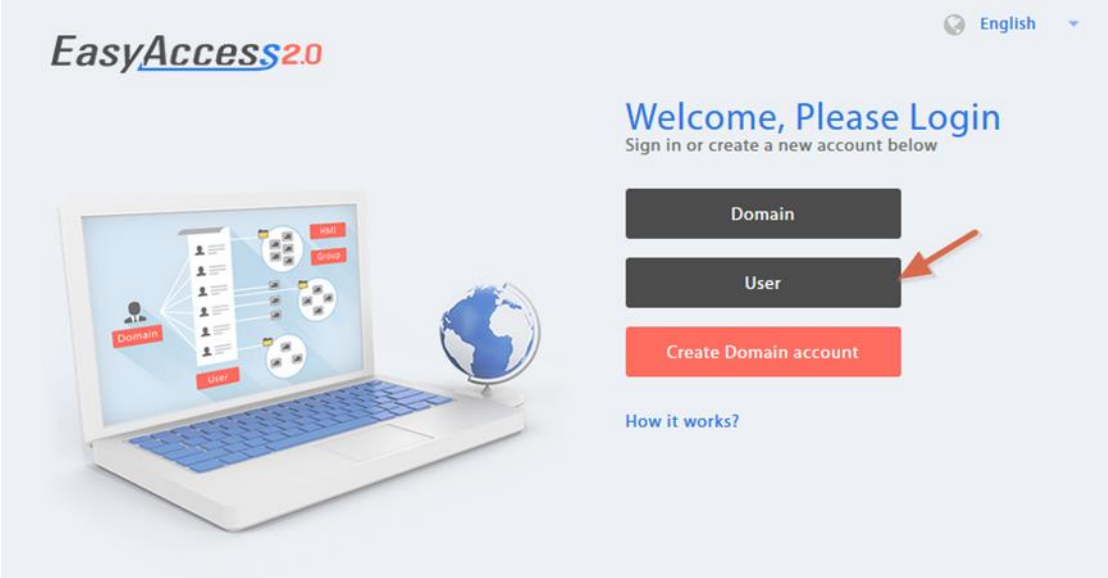
ボタン	機能
+ Add User	このボタンをクリックし、そしてメールアドレスを提供した後、Admin はこのウインドウの中で一個のユーザーIDを新規作成します。パスワードは検証メッセージを通して提供されます。新規ユーザーはメール内のリンクをクリックし、登録を完成する必要があります。  ユーザーを新規追加する
Edit User	Admin は一人のユーザーが接続できる HMI、及びそのユ

ボタン	機能
	ーザーが所属される HMI を管理できます。 **HMI/HMI Group » HMI** 選択したユーザーが接続できる HMI を指定します。 **HMI/HMI Group » Group** HMI グループに選択したユーザーを追加、または削除します。  ユーザーを HMI グループに新規追加する **Account Setting** ユーザーのアカウント情報を確認し、関連資料、または email 資料を編集します。
Delete User	選択したユーザーをドメインから削除します。
Copy User	ユーザーをリストにコピーします。そのユーザーは同一の HMI に接続でき、それに同じの HMI グループに配属できます。
Search...	ユーザー名で検索します。
user_name_ps	ユーザー名に ! マークがついている場合、そのユーザーは HMI を支配していないと指しています。

ユーザーパスワードの変更について

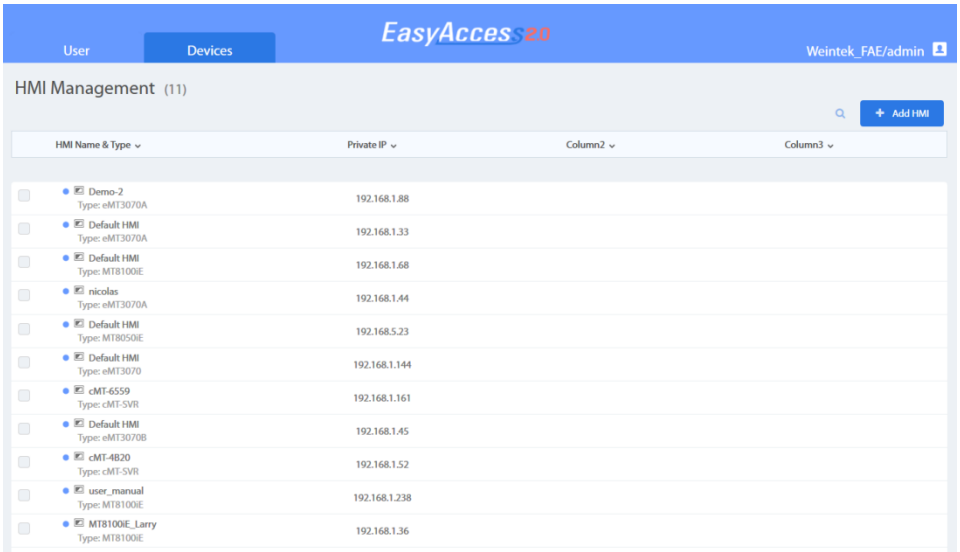
初めてアカウントを作成した時、デフォルトのパスワードは登録したメールアドレスに送られます。その後、パスワードを変更する必要がある場合、ドメイ

ン管理システムのホームページで User を選択してログインし、そして画面に表示されたステップに従って、パスワードを変更してください。



デバイスマネジメントについて

HMI リストにはドメイン内の全ての登録した HMI が表示されます。HMI グループリストには現在、ドメインの中に存在している HMI グループが表示されます。一番目の欄には HMI 名で特定の HMI を検索することができ、他の欄は下記情報を表示するように設定できます : Private IP (プライベート IP)、Public IP (パブリック IP)、Activation Date (アクティベーション日付)、Custom Field (カスタムフィールド)。



HMI リスト

HMI 設定	機能
+ Add HMI	HMI を現行のドメインに新規参加させます。 **Action type » Using activation card** アクティベーションカードを使って、HMI をアクティベートし、そして当 HMI を現在のドメインに参加させます。この方法を使用するにはハードウェアキー及びアクティベーションコードが必要です。 **Action type » activate by session id/password** Session ID / Password を使用し、当 HMI を現在のドメインに参加させます。この方法を使用するには、Session ID 及び Password が必要です。 **Action type » 30 days free trial** 30 日体験版がアクティベートされた期間内で、HMI はご使用のドメインに縛られ、ドメインから削除する、または他のドメインに移転するには、正式なアクティベーションコードが必要です。
Edit HMI	選択した HMI の情報を編集します。 **User/HMI Group tab » User** 選択した HMI に接続できるユーザーを指定します。 **User/HMI Group tab » HMI Group** 選択した HMI を HMI グループに追加、または削除します。 **Activation Information** ハードウェアキー及びこの HMI の関連情報を確認します。
Delete HMI	選択した HMI をドメインから削除します。一旦削除されたら、当 HMI は新しい Session ID 及びパスワードを使用し、他のドメインに参加できます。
Search... Filter	HMI 名で検索するか、または指定済/未指定/全ての HMI などのカテゴリーで、マッチしている HMI を探し出します。

HMI グループ設定	機能
+ Add Group	HMI グループを新規追加します。
Edit Group	選択した HMI グループを編集します。

HMI グループ設定	機能
	HMI/User tab » HMI HMI を選択した HMI グループに追加、または削除します。 **HMI/User tab » User** 選択した HMI グループ内のユーザーを編集します。 **General Setting** この HMI グループの関連情報を確認します。
Delete Group	選択した HMI グループを削除します。

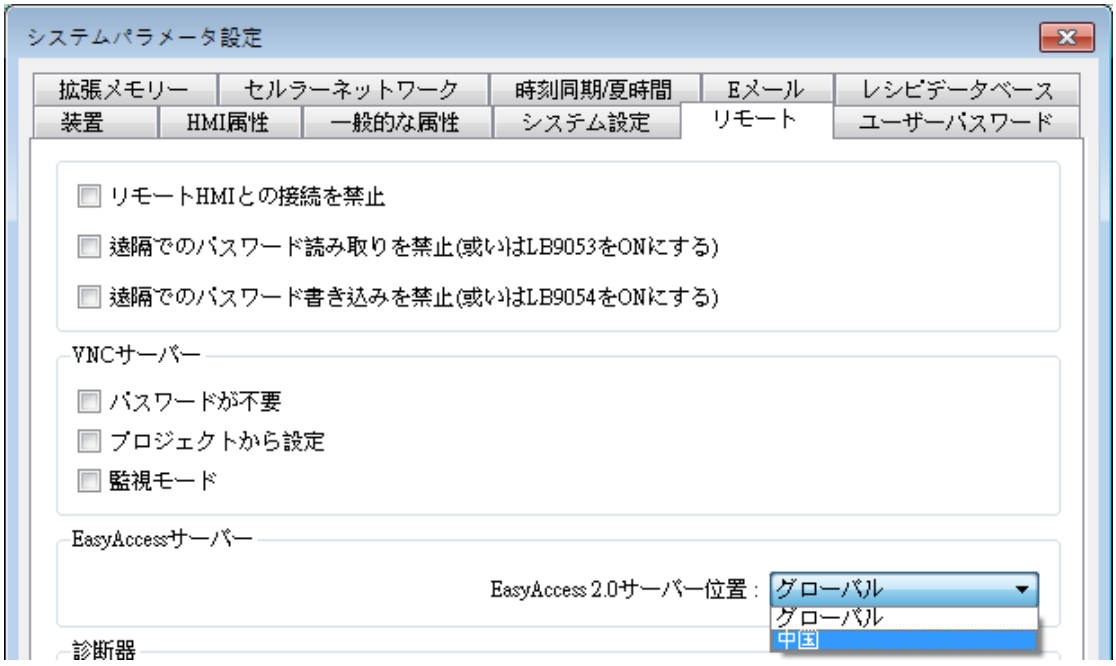
Note 一旦 HMI が現在のドメインから削除されたら、当 HMI は他のドメインに参加できます。当 HMI を本来のドメインに参加させたい場合、新しい Session ID/Password が必要です。

7. EasyAccess 2.0 サーバーへの接続方法

EasyBuilder Pro の[システムパラメータ設定] » [リモート]タブでは、EasyAccess 2.0 サーバーの所在位置を選択できます。[グローバル]及び[中国]が選べます。システムレジスタ LW-11296 で選択することもできます。

サーバーを選択する

中国ドメインとグローバルドメインが使用するサーバーが異なるので、アカウント及びアクティベーション情報などは、両ドメインの間に通用できません。中国販売ルートで取得したアクティベーションコードは、中国サーバーのみ適用します。他の地区で取得したアクティベーションコードは、グローバルサーバーに適用します。アクティベーションの取得ルートにより、グローバル、または中国サーバーを選択してください。



EasyAccess 2.0 サーバーを選択する

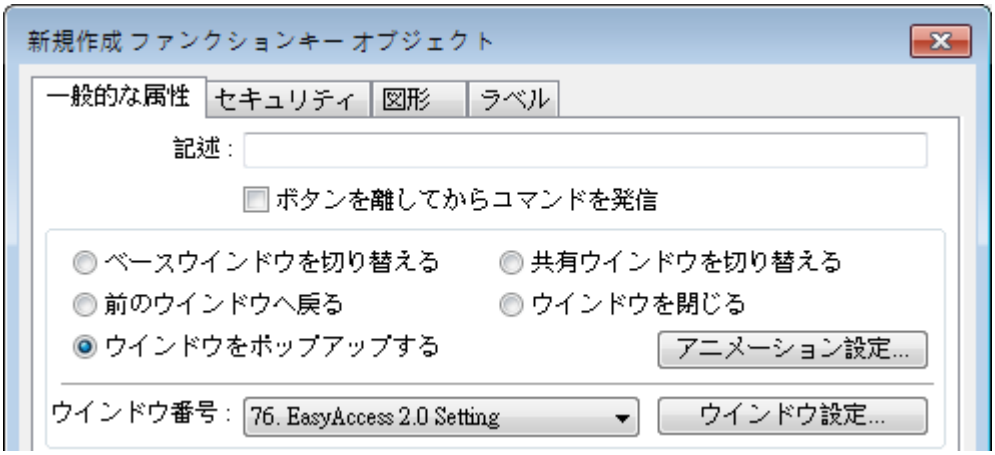
EasyBuilder Pro プロジェクト設定方法

HMI をアクティベートしたら、下記の手順に従って EasyAccess 2.0 に接続できます。EasyAccess 2.0 を使用するには、ご使用のプロジェクトは正常に下記手順を実行できることをお先に確認してください。

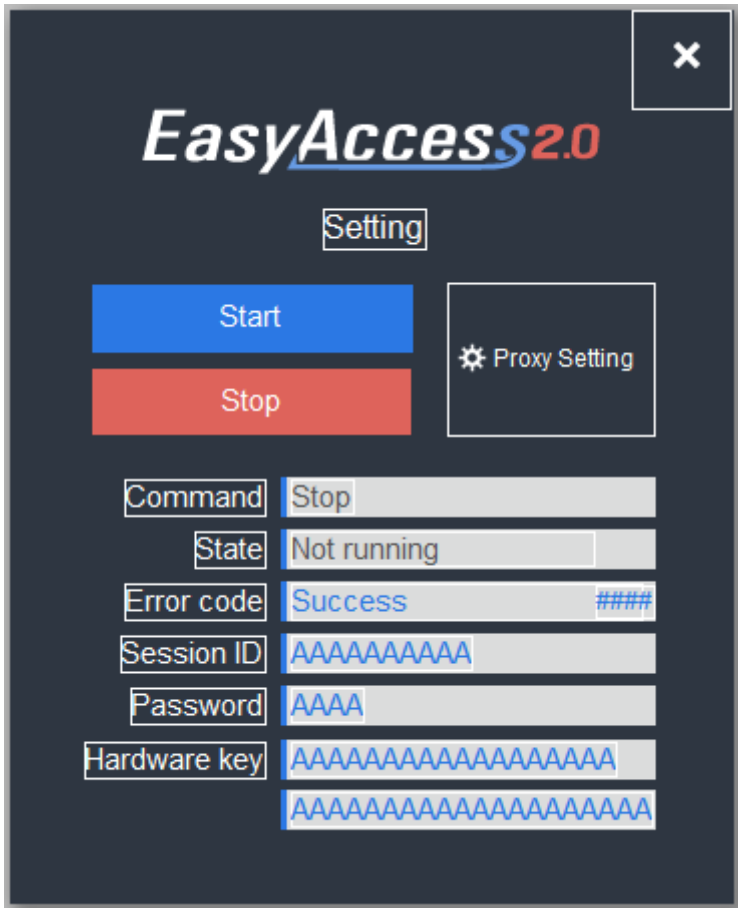
内蔵ウインドウを使用する

1. テンプレートを使用して新しいプロジェクトを新規作成します。
2. [ファンクションキー]オブジェクトを新規追加し、76 番ウインドウを

選択します。



3. 76 番ウインドウをオープンします。本ウインドウは“EasyAccess 2.0 Setting”に内蔵され、下記のように表示されます。



4. プロジェクトを HMI にダウンロードします。HMI で先ほど追加した[ファンクションキー]をクリックし、[Start]ボタンを押せば、EasyAccess 2.0 を操作し始めることになります。

1. また、EasyBuilder Pro で自作のオブジェクトで EasyAccess 2.0 を起動す

ることもできます：EasyBuilder Pro プロジェクトを設定します。プロジェクトで LW-10820 を書き込み・読み取り用のオブジェクトを作成します。

2. LW-10820 に“1”を書き込むとオンラインに接続できます。HMI は EasyAccess 2.0 で “オンライン” 状態を表示します。もし HMI は既にドメインに参加している場合、Session ID / Password が表示されます。

トラブルシューティング

EasyAccess 2.0 Setting、或いは LW-10829(16bit)ではエラーコードを確認できます。

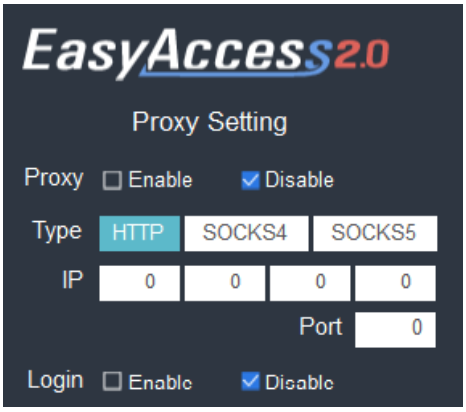
1 (Not Activated!): ご使用の HMI がアクティベートされたかを検査してください。HMI をアクティベートしたい場合、本マニュアル内の関連説明をご参照ください。

2 (Log-in timeout!): ご使用の HMI が他のサーバーと接続できません。ネットワーク設定(例えばファイアウォール等)を確認し、または本マニュアルの Diagnosis 章節のネットワーク環境関連の部分を確認してください。

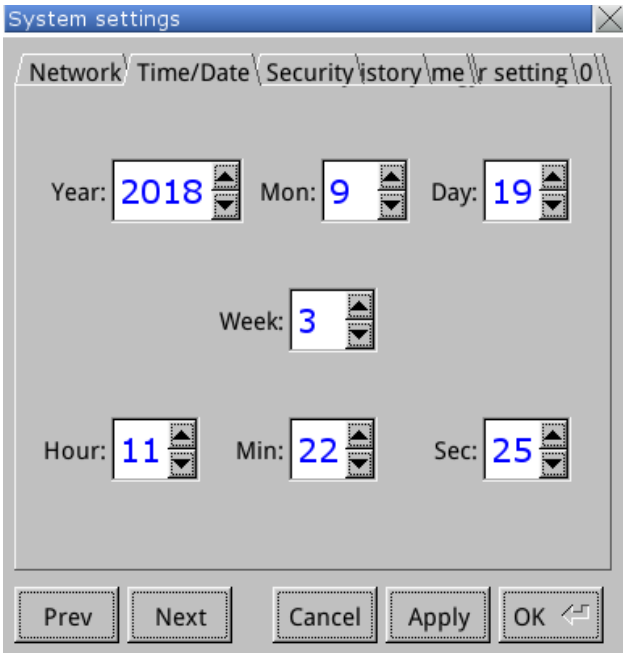
201 (NetworkGatewayError): ネットワーク設定内のゲートウェイ設定に間違いがあるかを確認してください。

202 (NetworkDNSError): ネットワーク設定内の DNS 設定に間違いがあるかを確認してください。

203 (ProxyError): Proxy 設定を確認してください。プロキシサーバーを使用していない場合、Proxy 設定を“Disable”の状態に維持してください。



204 (PingAuthServerFail): ご使用の HMI が他のサーバーと接続できません。ネットワーク設定(例えばファイアウォール等)を確認し、または本マニュアルの Diagnosis 章節のネットワーク環境関連の部分を確認してください。
205 (SSLCertificateError): HMI システム設定内の Time/Date(時刻/日付)設定が正しいかを確認してください。



それでも問題を解決できない場合、問題解決のため HMI Info Collector を使用して HMI の情報の収集にご協力ください。

8. EasyAccess 2.0 PC クライアントプログラム接続方法

EasyAccess 2.0 は PC にインストールできるスタンドアローンプログラムを提供します。このプログラムは EasyBuilder ソフトの外で独自に操作できます。

Weintek のオフィシャルウェブサイトから EasyAccess 2.0 をダウンロードしてください：
http://www.weintek.com/globalw/Software/EasyAccess.aspx
以下は EasyAccess 2.0 の接続を作成する手順です：

1. EasyAccess 2.0.exe を実行します。

2. ドメイン名、ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン]ボタンを押します。

3. ログインが成功したら、メイン画面にはこのユーザーが支配する HMI が表示され、及び各 HMI の接続状態を表示します。

4. このボタンを押したら、オンラインの HMI に接続できます。接続が成功すると、IP アドレスが表示されます。この状態で、直接に VNC、HMI Viewer、cMT Viewer 或いは FTP などの方法を通して HMI を接続できます。

5. 完成したら、本ボタンをクリックすると、接続を切断できます。

VNC Viewer

ご使用の HMI が VNC 対応機種である場合、VNC Viewer を通じて HMI を操作することが可能です。適する VNC Viewer を選択してインストールし、それに EasyAccess 2.0 の[設定] » [パス]でその VNC Viewer の実行ファイル(.exe)の保存先を記入します。接続に成功した後、 アイコンを押して反応がなかった場合、別途 VNC Viewer をオープンし、EasyAccess 2.0 で取得した仮想 IP アドレスを使用して目的地アドレスとしてください。

HMI Viewer

非 cMT 機種は HMI Viewer を通じて HMI を操作することができます。EasyAccess 2.0 の[設定] » [パス]で gui_e30.exe ファイルの保存先を正確に記入してください。EasyAccess 2.0 及び EasyBuilder Pro のインストールフォルダーには gui_e30.exe が見つかりますが、EasyBuilder Pro フォルダー内には普通、最新版のファイルが含まれるので、こちらのほうがお勧めです。

cMT Viewer

cMT 機種は cMT Viewer を通じて HMI を操作することができます。EasyAccess 2.0 及び EasyBuilder Pro のインストールフォルダーには cMT Viewer が見つかりますが、EasyBuilder Pro フォルダー内には普通、最新版のファイルが含まれるの

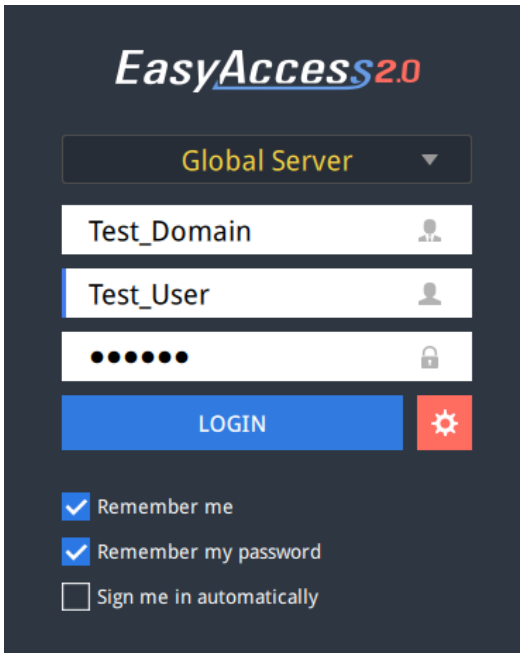
で、こちらのほうがお勧めです。

ネットワークアダプタについて

初めてプログラムを実行する時、システムはネットワークアダプタをインストールする必要があるのかを検知します。必要がない場合、そのまま直接に EasyAccess 2.0 をインストールします。

ログインについて

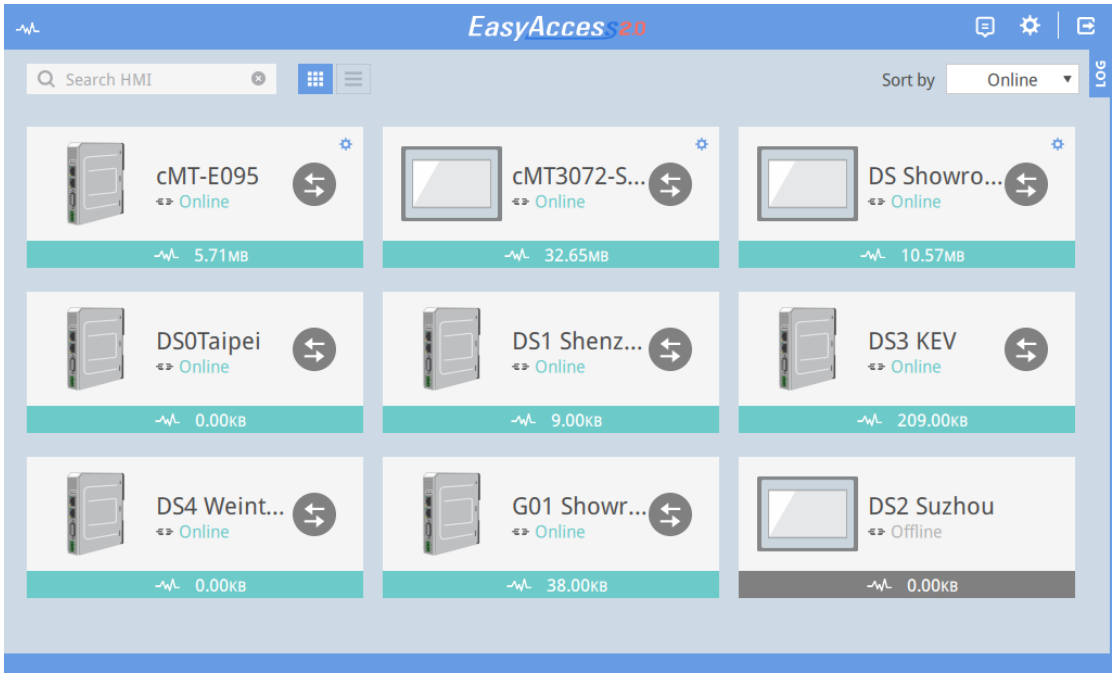
ログインする時、ドメイン名、ユーザー名、パスワードが必要です。



EasyAccess 2.0 にログインする

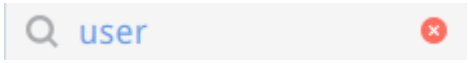
メイン画面について

成功にログインした後、メイン画面ではこのユーザーが支配する HMI、及び各 HMI の接続状態が表示されます。オンラインしている HMI の情報の所に、接続ボタンと設定ボタンが表示されます。
EasyAccess プログラムの中で、同一時間に接続できる HMI の数量は制限していません。但し、もしその中の一台の HMI は既にあるユーザーに接続されている場合、HMI の状態は “占有された”と表示され、当 HMI を占有したユーザーが接続を切断しないかぎり、その HMI は他のユーザーに接続されません。



EasyAccess 2.0 メイン画面

メイン画面の中の各アイコンの説明を下記に示します：

アイコン	機能
	転送量を表示する(トップアップカード)
	HMI を検索する
	タイル表示 / リスト表示
	イベントログ
	設定
	ログアウト
	活動情報を表示する

設定

	記述
タブ	オプション：
一般 »ネットワークトラフィック	**全ての HMI のネットワークトラフィック** **Weintek P2P 通信を無効にする** **デバックするため、ログの送信を有効にする**
情報	ソフトウェアバージョン及び利用規約を表示します。
言語	言語を選択します。現在サポートしている言語： 英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、韓国語、ドイツ語、日本語、ポーランド語
パス » 実行ファイル	VNC Viewer, HMI Viewer, cMT Viewer の*.exe ファイルのパスを選択します。接続ができると、これらのパスを使って、対応する Viewer プログラムをオープンできます。 **VNC 実行ファイルパス** VNC Viewer の.exe ファイルの保存先パスです。VNC Viewer を別途インストールする必要があります。 **HMI Viewer パス** GUI (gui_e30.exe) ファイルの保存先パスです。iE/XE/eMT/mTV シリーズに適用します。 **cMT Viewer パス** cMT Viewer 実行ファイルの保存先パスです。cMT-SVR に合わせて使用する必要があります。 **EB Pro フォルダ** EasyBuilder Pro ファイルの保存先です。PC->HMI 転送に必須のライブラリは全部ここに保存されています。

Note HMI Viewer を実行するため、できるだけ GUI を最新バージョンに維持してください。EasyAccess 2.0 の最新バージョンが発表される時、そのインストールパスには、当バージョンに対応する GUI 及び cMT Viewer ファイルが含まれます。HMI を更新する時、その動作環境には GUI を更新する必要があるかもしれません。この場合、最新バージョンの EasyBuilder Pro をお問い合わせください。

HMI の状態及び設定

HMI の状態は：オフライン、オンライン、接続した、占有されたと分かれています。

オフライン

オンライン

接続した

占有された

以下では各アイコンの使用方法及びその意味を説明します：

アイコン	記述
MyHMI	HMI 名を表示します。
IP 10.7.0.4	IP アドレスを表示します。このボタンをクリックすると、IP アドレスをクリップボードにコピーします
パススルー	パススルー機能の IP アドレスを設定します。
	HMI を接続します。
	HMI との接続を切断します。
VNC	VNC Viewer を使用する HMI を接続します (VNC Viewer を別途インストールする必要があります)。

HMI Viewer を使用する HMI を接続します。

イベント

プッシュ通知を有効にした後、トリガーされたイベントの[メッセージ]はここに表示されます。

アクセス設定

ここで VNC Viewer または HMI Viewer を使用するかを設定します。

VNC Viewer を使用したい場合、設定ページで実行パスを設定します。

HMI Viewer を使用したい場合、設定ページで実行パスを設定し、そしてプロジェクトのアップロード及び履歴データの関連設定をします。

HMI Viewer 設定ページ
(本ページは有効された場合のみ表示されます)

通知設定

ここでプッシュ通知を有効にします。HMI の[イベント]がトリガーされた時、EasyAccess2.0 が[イベント]の[メッセージ]の内容をプッシュ通知で送信することができます。

言語設定で[メッセージ]内容の表示言語とフォントを設定します。本項は[ラベルライブラリ]の多言語機能を合わせて使用することができます。

コネクション・ログについて

LOG ボタンをクリックすると、[活動情報]ウインドウが開かれ、[VPN]、[認証]、[アカウント]などの項目が表示されます。[ユーザーインーたーフェース]タブでは HMI Viewer の関連情報を表示します。このウインドウの中、詳細情報を閲覧する以外、ログをファイルにして保存することができます。

コネクションログ

ネットワークトラフィック表示

この HMI が当月で使用したネットワークトラフィックを表示します。

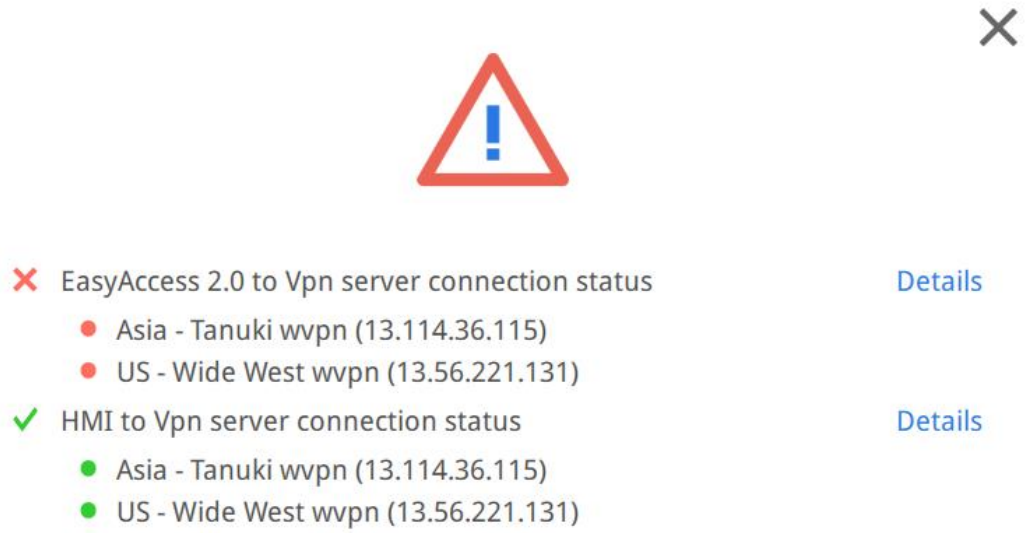
HMI が使用したネットワークトラフィックを表示する

トラブルシューティング

接続に問題が発生された場合、"疑問符"アイコンをクリックし、問題の詳細を

確認してください。

問題が発生した場合

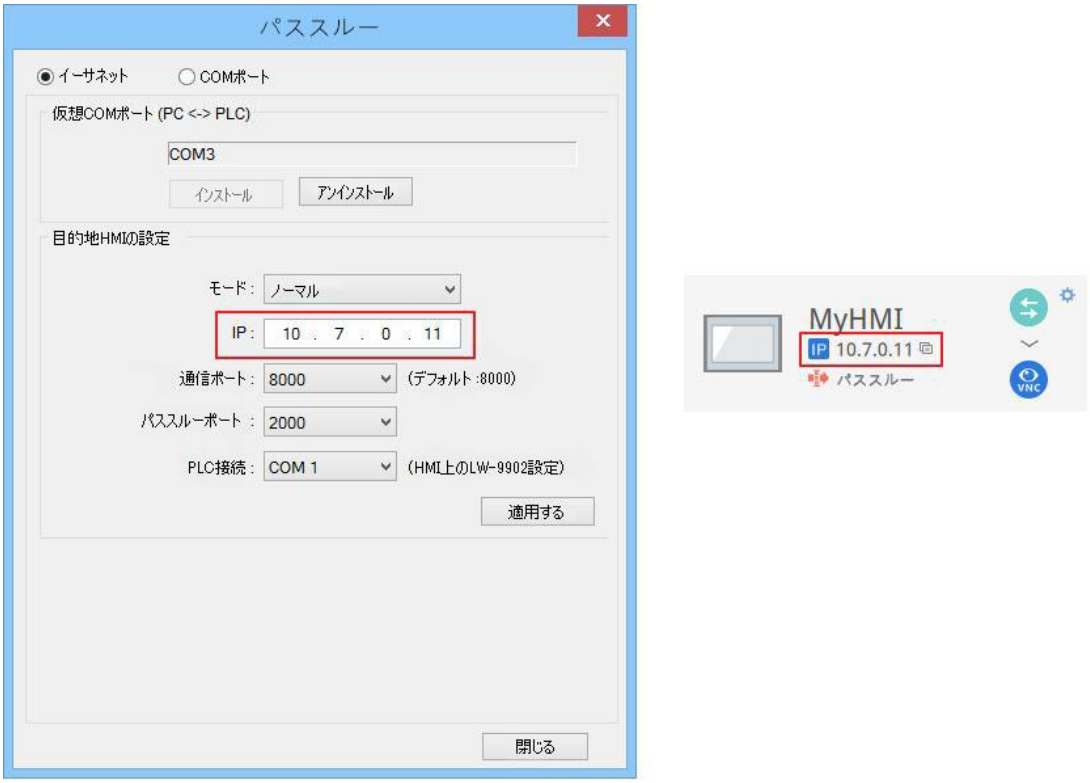


エラーの詳細

または Diagnosis で問題を確認することもできます。

9. EasyAccess 2.0 を通してパススルー通信

EasyAccess 2.0 を使用すれば、簡単にリモートパススルー通信を実行でき、その方法はローカルパススルー通信と似ています。リモートパススルーを行うには、Utility Manager の Pass-through プログラムだけを使用すれば結構です。下図に示す通り、その中に EasyAccess 2.0 で取得した仮想 IP アドレスを入力します。他のステップについては、ローカルパススルー通信と同じです。リモートパススルー通信を行う時、他の接続ポートの設定を変更する必要がありません。

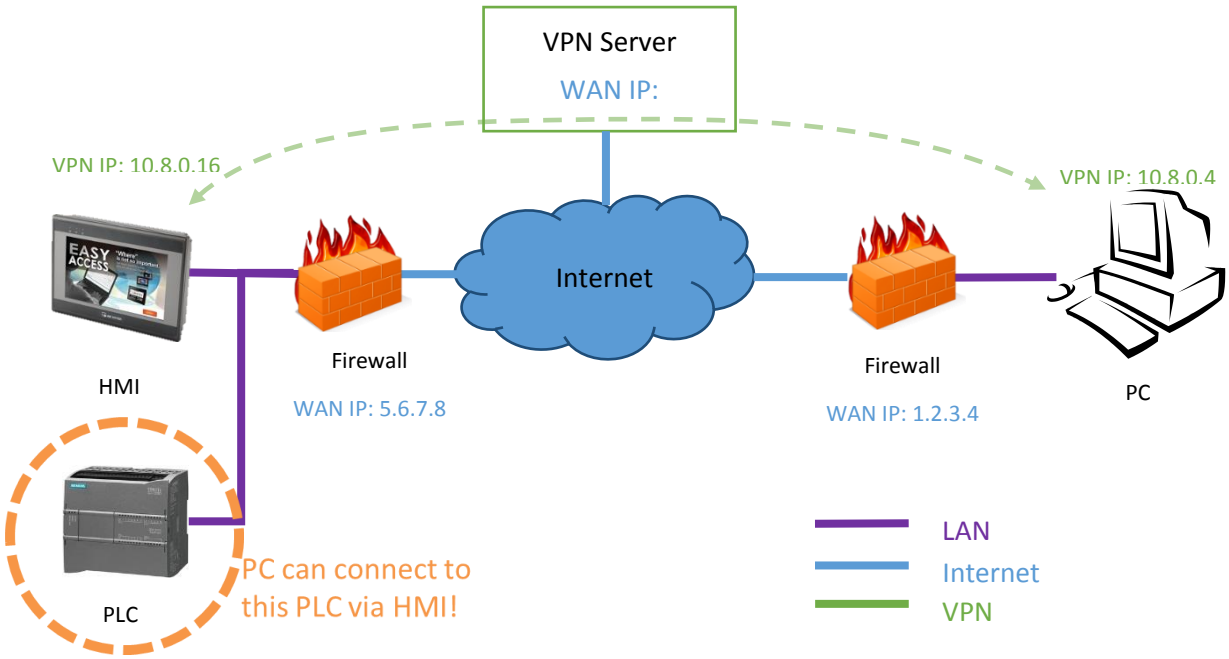


Utility Manager パススルー設定

10. ネットワーク上でパススルー通信、リモート PLC を接続する (Ethernet パススルー)方法

EasyAccess 2.0 は直接に Weintek の HMI を接続できるだけでなく、パススルー通信サービスも提供しており、これによってユーザーはリモート HMI のネットワークで PLC を接続できます。下図に示すように、EasyAccess のネットワークでは一個の PLC 装置が HMI のある LAN に接続しています。この場合、EasyAccess 2.0 と HMI の間の接続を作成する PC は、HMI を継電器とし、PLC を

接続することができるようになります。



PLC を接続するには、パススルーをどう設定すればいいですか?

1. HMI リストの上で[パススルー]ボタンをクリックすると、オンライン状態では下記の通り IP アドレスが表示されます。

2. 下記のウインドウで対象 PLC の IP アドレスを入力します。

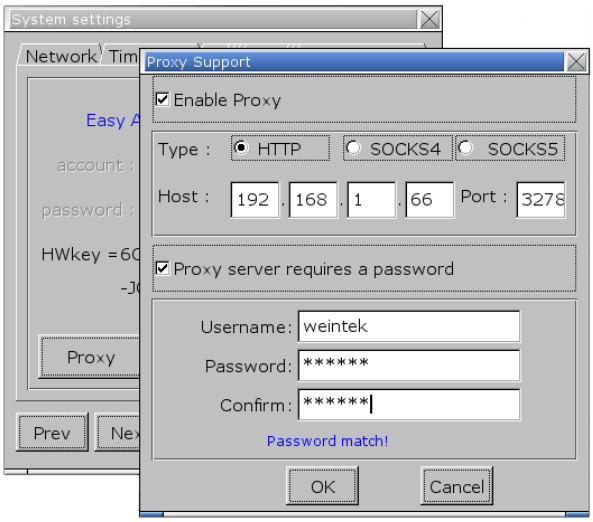
3. 接続が成功したら、PLC の IP アドレスが表示されます。この時、PLC のプログラムをオープンできます。

もしリモート PLC とローカル PC が同じ範囲内の IP アドレスを使用すると、ウオーニングは現れ、後続での PLC IP アドレスへの接続はリモート装置に指向し、ローカル装置に指向しないとのことを表示します。

11. プロキシサーバーについて

プロキシサーバー(Proxy)はクライアントとサーバーの間の媒介のようなものです。あるネットワークのベース施設の中、特に大範囲の施設では、プロキシは安全性の確保、管理のコントロール、及びネットワークの効率化に役に立てます。しかし、プロキシで EasyAccess 2.0 を接続するには、別途に EasyAccess クライアントプログラムで、または HMI の上で正確に設定する必要があります。

PC 上の EasyAccess 2.0 クライアント側のプロキシサーバーの設定は HMI 側と似ています。PC 側でのプロキシの設定ウインドウ、設定ボタンを押して開かれます。HMI 側では、System settings の EasyAccess 2 タブで設定できます。Type を選択し、Host にアドレス及びポート番号を入力し、そしてネットワーク管理者からもらったユーザー名とパスワードを入力します。



プロキシサーバーの設定

プロキシサーバー関連のシステムタグ

EasyBuilder Pro は下記の EasyAccess 2.0 プロキシサーバー設定に関連するシステムレジスタを提供します：

LW-11170 (16bit)	プロキシサーバーを無効にする/有効にする (0:無効にする, 1 有効にする)
LW-11171 (16bit)	プロキシサーバーのタイプ (0:HTTP, 1:SOCKSv4, 2:SOCKSv5)
LW-11172 (16bit)	プロキシサーバー IP0
LW-11173 (16bit)	プロキシサーバー IP1
LW-11174 (16bit)	プロキシサーバー IP2
LW-11175 (16bit)	プロキシサーバー IP3
LW-11176 (16bit)	プロキシサーバーポート番号
LW-11177 (16bit)	プロキシサーバーを認証する (0:無効にする, 1:有効にする)
LW-11178 (16 words)	プロキシサーバーユーザー名
LW-11194 (16 words)	プロキシサーバーパスワード

12. Android 装置の上で EasyAccess 2.0 を使用する

EasyAccess 2.0 は Android 装置の上で実行できます。EasyAccess 2.0 は、ユーザーが簡単に VNC 或いは cMT Viewer を通してリモート HMI をコントロールできるようにします。たとえ Android 装置の上で、ある UI 或いは機能などが PC と若干違っていても、接続のステップは依然に簡単で直接的です。
EasyAccesss は Android V.4.1.2 或いは更に新しいバージョンで実行できます。

App をダウンロードする

EasyAccess 2.0 このメインプログラム以外、OpenVPN Connect をダウンロードする必要もあります。アプリケーションソフトストアに下記二個の無料プログラムをダウンロードしてください。

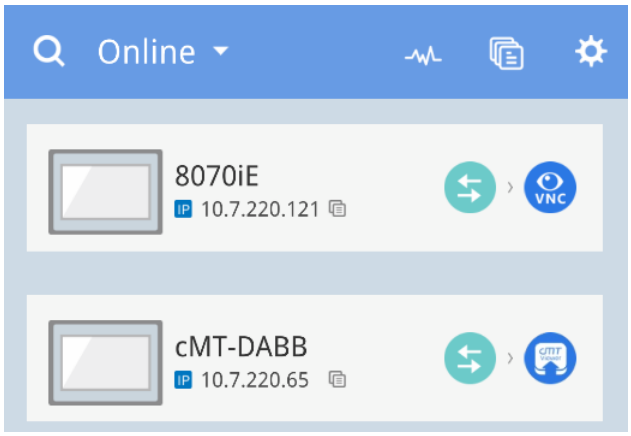
プログラムアイコン	プログラム名	サプライヤー
	EasyAccess 2.0	Play Store download APK download
	EasyAccess 2.0 OVPN Connector	Play Store download APK download

VNC/cMT Viewer をダウンロードする

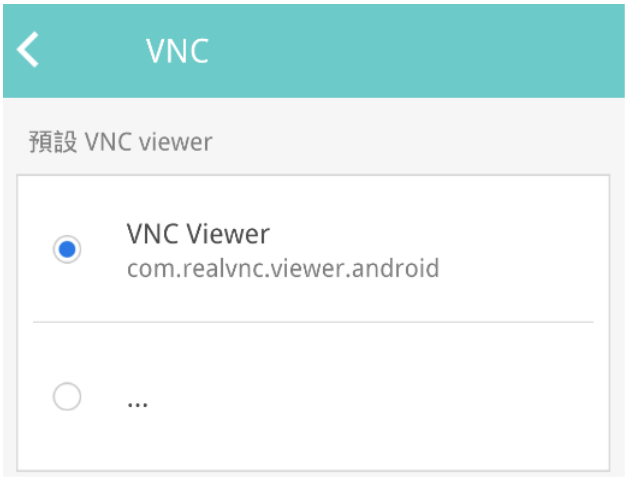
- RealVNC VNC Viewer: Google Play
- cMT Viewer: Google Play

EasyAccess 2.0 接続を作成する手順

1. EasyAccess 2.0 App を実行します。
2. ドメイン名、ユーザー名、パスワードを入力し、そして[ログイン]ボタンを押します。
3. ログインに成功したら、メイン画面にはこのユーザーに配属した HMI が表示され、及び各 HMI の接続状態を表示します。
4. このボタンをクリックしたら、オンラインの HMI に接続できます。
5. 接続し始めると、仮想 IP アドレスが表示されます。画面のトップ部にも一個の VPN アイコンが表示され、この時は、直接に VNC 或いは cMT Viewer を通してリモート HMI に接続できます。



注意：VNC Viewer で接続するには事前に VNC Viewer をインストールし、そして設定 » VNC でデフォルト VNC Viewer を設定する必要があります。



6. 完成した後、本ボタン をクリックすると、接続を切断できます。

VNC Viewer

ご使用の HMI が VNC 対応機種である場合、VNC Viewer を通じて HMI を操作することが可能です。適する VNC Viewer を選択してインストールし、それに EasyAccess 2.0 でその VNC Viewer をデフォルトに設定します。EasyAccess 2.0 で取得した仮想 IP アドレスを目的地アドレスとしてください。接続に成功した後、接続に成功した後、 アイコンを押して反応がなかった場合、別途 VNC Viewer をオープンし、EasyAccess 2.0 で取得した仮想 IP アドレスを使用して目的地アドレスとしてください。

cMT Viewer

cMT 機種は cMT Viewer を通じて HMI を操作することが可能です。Google Play から無料で cMT Viewer をダウンロードできます。

13. iOS で EasyAccess 2.0 を使用する

EasyAccess 2.0 は iOS で実行できます。EasyAccess 2.0 はユーザーに容易に VNC 或いは cMT Viewer を通してリモート HMI を操作できるようにさせます。しかし iOS システムの制限で、接続する時、接続の方法は PC 及び Android 端末と少し違っています。
EasyAccesss 2.0 は iOS バージョン 7.0 以上で実行できます。

App Store からダウンロードする

EasyAccess 2.0 このメインプログラム以外、OpenVPN Connect をダウンロードする必要もあります。App Store からこの二つの無料プログラムをダウンロードしてください。

プログラムアイコン	プログラム名	サプライヤー
	EasyAccess 2.0 (Weintek Labs., Inc.)	App Store Link
	OpenVPN Connect (OpenVPN Technologies)	App Store Link

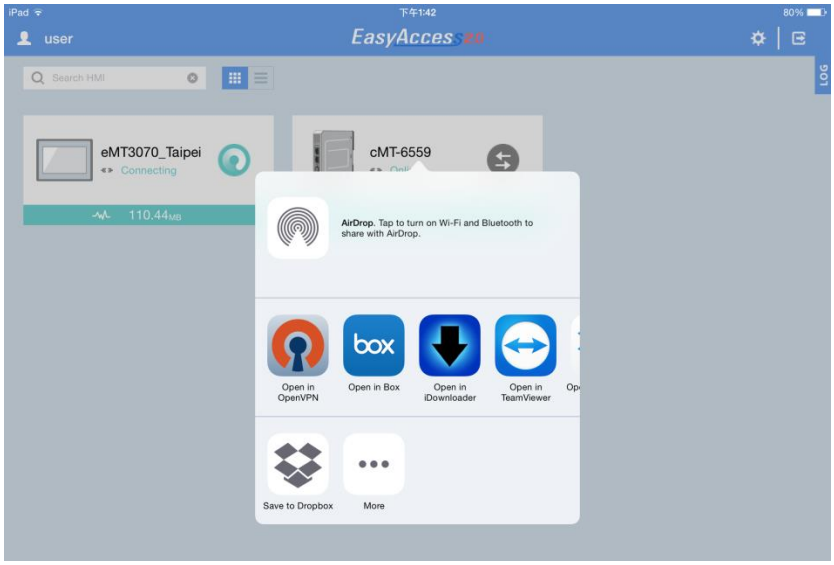
EasyAccess 2.0 接続を作成する手順

1. EasyAccess 2.0 App を実行します

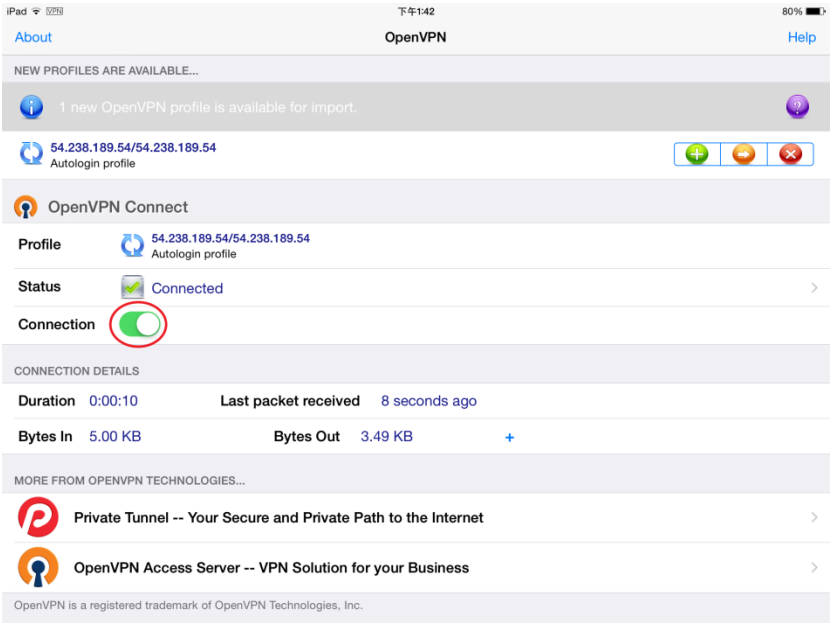
2. ドメイン名、ユーザー名、パスワードを入力し、そして[ログイン]ボタンを押します。

3. ログインが成功したら、メイン画面にはこのユーザーに配属した HMI が表示され、及び各 HMI の接続状態を表示します。

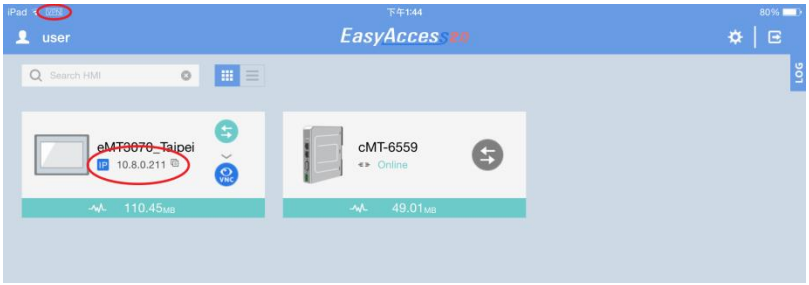
4. このボタンをクリックしたら、オンラインの HMI と接続できます。ダイアログボックスには実行できる動作のボタンが表示され、“Open in OpenVPN”をクリックしてください。



5. OpenVPN App にログイン資料を加え、そして Connection をオープンすれば、接続が始められます。



6. 接続を始めれば、EasyAccess 2.0 App に戻ると、仮想 IP アドレスが表示されます。画面のトップ部にも VPN アイコンが表示され、この時は直接に VPN 或いは cMT Viewer を通してリモート HMI に接続できます。



7. 完成した後、本ボタンをクリックすると、接続を切断できます。

VNC Viewer

ご使用の HMI が VNC 対応機種である場合、VNC Viewer を通じて HMI を操作することが可能です。適する VNC Viewer を選択してインストールし、それに EasyAccess 2.0 でその VNC Viewer をデフォルトに設定します。EasyAccess 2.0 で取得した仮想 IP アドレスを目的地アドレスとしてください。接続に成功した後、 アイコンを押して反応がなかった場合、別途 VNC Viewer をオープンし、EasyAccess 2.0 で取得した仮想 IP アドレスを使用して目的地アドレスとしてください。

cMT Viewer

cMT 機種は cMT Viewer を通じて HMI を操作することが可能です。Google Play から無料で cMT Viewer をダウンロードできます。

14. PC Activator について

PC Activator は迅速なアクティベーションプロセスを提供するプログラムで、ウェブインターフェースで実行する必要がありません。HW Key を記憶し、入力することで HMI をアクティベートする方法に比べて、PC Activator を使用すれば、ユーザーはスムーズにネットワーク内の HMI を探し出せ、アクティベーション状況を確認でき、そしてアクティベーションコードで HMI をアクティベーションできます。この方法は特に多量のアクティベーションに適しています。また、PC Activator も HMI をドメインに参加させることができ、Session ID/パスワードを入力する必要がありません。

PC Activator は下記 2 点の主要機能をサポートします：

1. アクティベーションコードで HMI をアクティベートする
2. HMI をドメインに参加させる

HMI をアクティベートする

LOGIN **1.** ドメイン名、パスワード、アクティベーションコードを入力します。

2. HMI リストで HMI を選択します。アイコンが表示された HMI はアクティベーションできると示し、当 HMI の HW Key が取得、表示できます。

以下で各アイコンが示す意味を説明します：

: HMI がアクティベートされ、ドメインに参加された

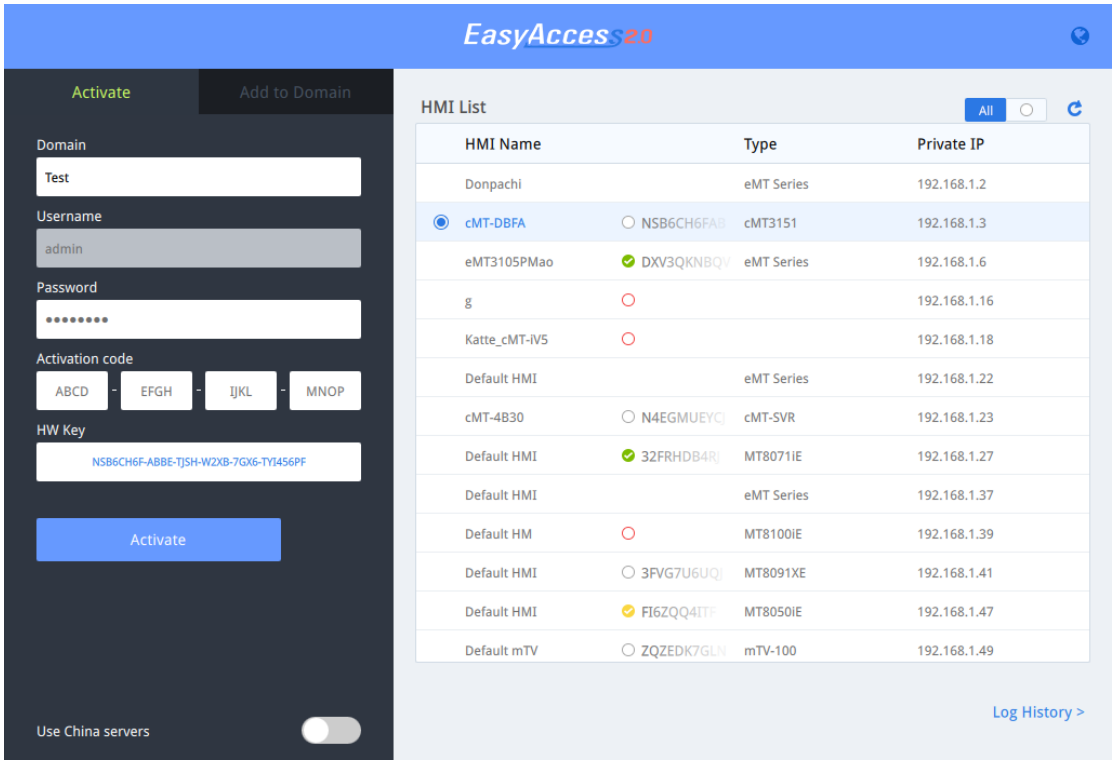
: HMI がアクティベートされたが、ドメインに参加されていない

:HMI がアクティベートされていなく、PC Activator でアクティベーションできる

: HMI の OS バージョンが PC Activator をサポートしない。先に OS バージョンを更新することで、解決できる

アイコン無し: HMI は PC Activator をサポートしない

Activate **3.** Activate ボタンを押します。



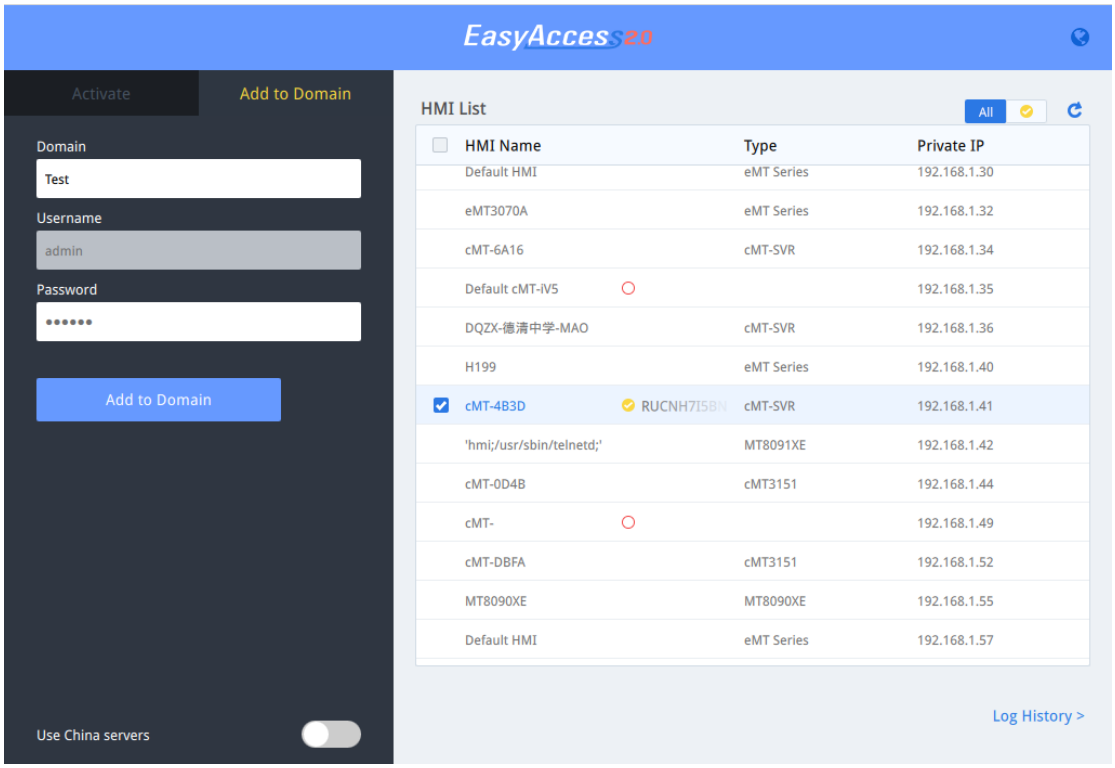
[Use China servers]を選択した後、PC Activator は HMI のアクティベーション状態を確認し、それに中国サーバー(http://www.easyaccess.cn)でアクティベーションを実行します。グローバルサーバーと中国サーバーで登録したログイン情報は相互に通用できないので、ご留意ください。

HMI をドメインに参加させる

PC Activator はユーザーに Session ID/パスワード無しの状況下、直接に HMI をドメインに参加させることができます。ユーザーはただドメイン名、パスワードを入力し、そして参加させたい HMI を選択すればいいです。

アイコンのある HMI は、既にアクティベートされたが、まだドメインに参加されていないと示しています。このような HMI を選択し、ドメインに参加させることができます。

[Use China servers]を ON にする時、PC Activator は HMI のアクティベーション状況を確認し、中国サーバーで(http://www.easyaccess.cn)HMI をアクティベートします。グローバルサーバーと中国サーバーがそれぞれ独立しているものなので、グローバルサーバーと中国サーバーで登録したログイン情報は相互に通用できません。ご留意ください。



OS バージョン

PC Activator をサポートする HMI OS バージョン(2018 年 5 月現状)

モデル	OS バージョン(それ以降のバージョンを含む)
eMT3070A	未発表
eMT3070B	20150603
eMT3105,eMT3120, eMT3150	未発表
MT8070iE, MT8100iE	20150508
MT8050iE, MT8071iE, MT8101iE	20150527
MT8090XE, MT8091XE, MT8092XE	20150603
MT8121XE, MT8150XE	20150603
mTV-100	20150508
cMT-SVR	20151127
MT8073iE, MT8102iE, MT8103iE	全バージョン
cMT-SVR 以外の cMT 機種	全バージョン

15. プッシュ通知

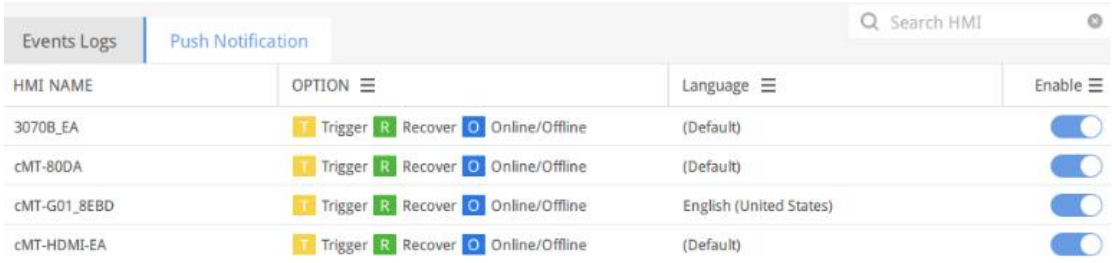
プッシュ通知機能は HMI から選択されたイベントメッセージ EasyAccess 2.0 サーバーに転送でき、ユーザーは EasyAccess 2.0 を通じてこれらのメッセージを閲覧できます。モバイル端末を使用する場合、その端末の待機画面にプッシュ通知のメッセージを表示させることができます。

設定方法

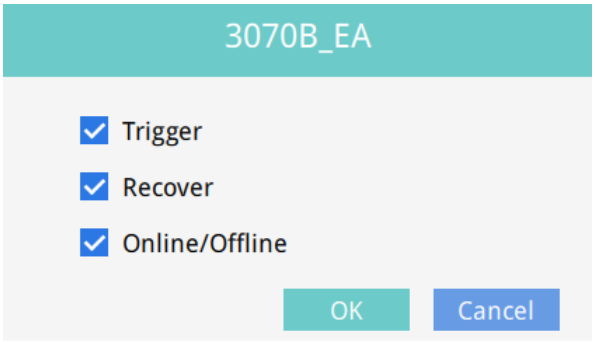
プッシュ通知を使用するには、EasyAccess 2.0 と EasyBuilder Pro での設定を以下の通りで説明します。

1. EasyBuilder Pro でプロジェクトを設定する時、表示させたいログの設定ダイアログボックスで“プッシュ通知(EasyAccess 2.0)”にチェックマークを入れる必要があります。

2. 各 HMI で EasyAccess 2.0 の設定ページで[プッシュ通知を有効にする]を有効にする必要があります。



3. 受信したいプッシュ通知の種類を選択します。



プッシュ通知を受信する

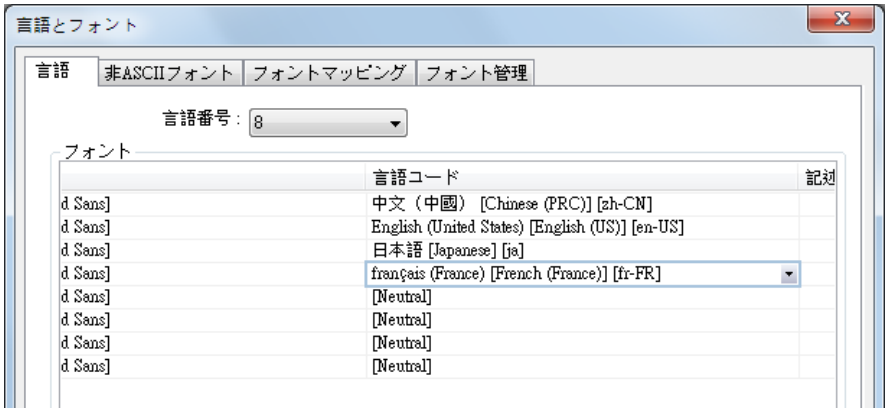
EasyAccess 2.0 がバックグランド実行し続け、それにユーザーがログイン状態を維持する場合、イベントが発生すれば、モバイル端末はプッシュ通知を受信でき、但し実際の受信行為はモバイル端末のプッシュ通知設定によります。Apple iOS モバイル端末は iOS APNS プッシュ通知(Apple Push Notification Service)の設定により、Android モバイル端末は Google クラウドメッセージング(Google Cloud Messaging)の設定によります。以上のプッシュ通知は一部のエリアに適用しない可能性があります。そのエリアにいるユーザーはプッシュ通知を受信できません。

言語設定

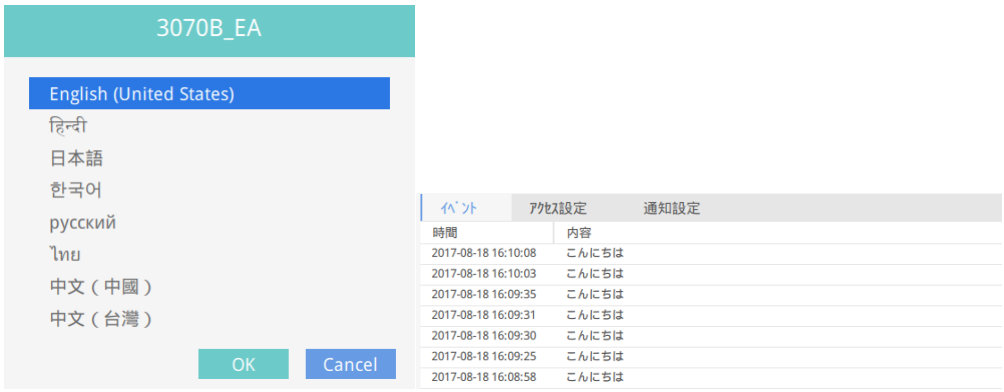
プロジェクトで多言語を使用し、それにイベントログでも多言語を設定した場合、プッシュ通知ではメッセージの言語を切替できます。言語を切り替えるためには、前述の設定が必須で、また以下のように設定する必要があります：

1. EasyBuilder Pro での[イベント]の[メッセージ]タブに[ラベルライブラリを使用]を選択します。

2. EasyBuilder Pro の[プロジェクト] » [言語&フォント]設定の[言語]タブで、各言語に適する言語コードを指定します。



上記のように設定した後、EasyAccess 2.0 での各 HMI への通知の設定で定義された言語を選択できます。イベントメッセージ及びプッシュ通知は設定通りに言語を表示します。



言語設定

言語設定

WeChat

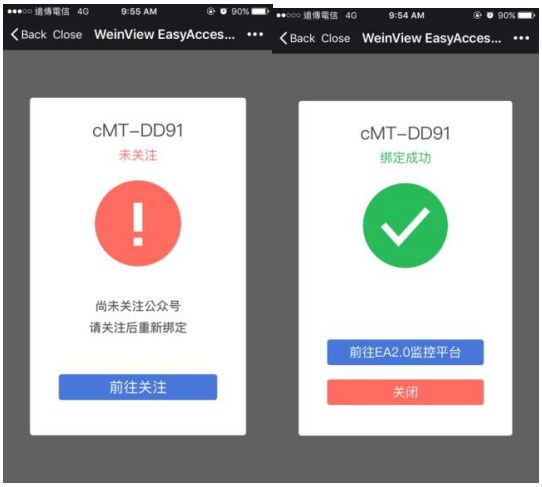
WeChat のユーザーは WeChat アプリを通じてプッシュ通知を受信することができます。

以下は WeChat のプッシュ通知を使用するための要件です：

- ✓ HMI の EasyAccess 2.0 は中国サーバーでアクティベートされ、中国サーバに接続しています。
- ✓ イベントログ設定でプッシュ通知を選択しています。
- ✓ WeChat アカウントで EasyAccess 2.0 公式アカウントをフォローし、HMI をリンクしています。

HMI を WeChat アカウントに固定する唯一の方法は WeChat で QR コードをスキャンすることです。QR コードを生成するには、EasyBuilder Pro で一個の [WeChat 二次元バーコード表示]オブジェクトを作成し、それにオブジェクトアドレスをレジスタ LW-11770(ラベルライブラリで見つかる)に設定し、そしてプロジェクトを設定して WeChat 二次元バーコード表示オブジェクトが HMI のスクリーンサイズに合わせて表示させます。

HMI で WeChat 二次元バーコード表示オブジェクトを起動し、そして WeChat アプリでその二次元バーコードをスキャンし、アプリの設定手順に従ってリンクを完成します。まだ EasyAccess の公式アカウントをフォローしていなかったら、アプリはフォローするのを催促し、この時は公式アカウントをフォローして改めて二次元バーコードをスキャンして HMI へのリンク作業を続行してください。



リンクが完了した後、WeChat を使用するモバイル端末はイベント通知を受信できます。また、HMI とサーバーと接続、また接続が切断された場合でも、WeChat 通知を受信できます。

リンクされた HMI を管理したい場合、WeChat ページ下部にある管理ページで指示通りに HMI へのリンクを取り消すことができます。

注意：WeChat でプッシュ通知を受信するには、EasyAccess 2.0 公式アカウントをフォローすることが要件です。リンクされた HMI はドメインに参加する必要がなく、それに domain user アカウントを作成するも必要も無くてそのまま WeChat プッシュ通知を使用できます。

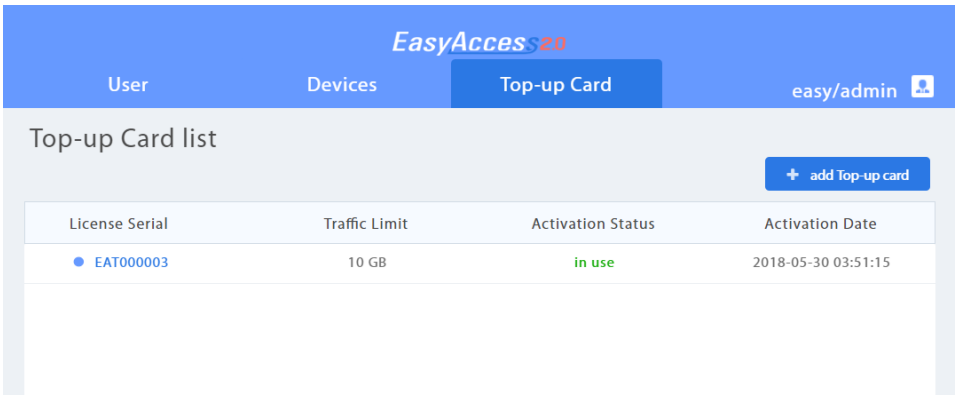
16. トップアップカード

現在、各 HMI ごとに毎月 1GB の無料転送量が提供されています。転送量が使い切れたら、スピードダウンモードになり、転送速度は 5kB/s に下がります。高速な転送量を増加したいなら、トップアップカードを使用できます。トップアップカードは 5GB と 10GB との二種類の転送量を提供し、有効期限は一年間です。各 HMI 各 HMI は毎月の無料転送量が使い切れてから、トップアップカードの容量を使用し始め、高速な転送速度を確保します。
トップアップカードのご購入は Weintek の代理店から購入できます。ご購入に関する詳細は、代理店までお問い合わせください。

トップアップカードをロードする

以下のように簡単なステップに従って、トップアップカードが提供する転送量を使い始めます：
トップアップカードを取得します。その中にはライセンスシリアル番号及びアクティベーションコードが含まれます。
EasyAccess 2.0 のドメイン管理ページでトップアップカード設定タブを選択します。
トップアップカード設定タブで[トップアップカードを追加する]をクリックし、ライセンスシリアル番号及びアクティベーションコードを入力します。
ロードに成功した後、数分間待つとトップアップカードが提供する転送量を使用できます。

リスト内のトップアップカードをクリックすると、現在のデータ転送量、使用履歴が表示されます。EasyAccess 2.0 メインページの左上隅でも、トラフィックアイコンをクリックしてネットワークトラフィックを閲覧することができます。

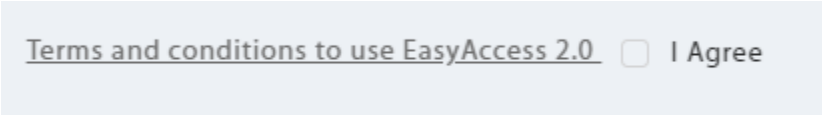


トップアップカードリスト

トップアップカードが提供する容量は EasyAccess 2.0 のドメインに付加されます。よりまして、同一ドメイン内にいる全ての HMI は全部、一点のトップアップカードが提供する容量を共有できます。また、一回で複数のトップアップカードを事前に購入して使用することが可能で、有効期間がより短いトップアップカードが優先に使用されます。

17. よくある質問

Q: ドメインアカウントを新規登録したところ、「EasyAccess の使用規約と条件」の「同意する」にチェックを入れることができなせんが、何故ですか？



A: これはグーグルの翻訳プラグインで誘発された問題かもしれません。関連機能を無効にしてから、もう一度試してください。

Q: ドメインアカウントを新規登録してログインしたところ、登録が完了していないとのメッセージが表示されました。
A: 初めてのご登録の場合、システムはご記入のメールアドレスに確認メールを送信します。確認メールのリンクをクリックしてメールアドレスの認証を完了した場合のみ、登録完了と視されます。

Q: PC Activator で HMI をアクティベートすることができません。それに、HW Key 欄では“Not Supported”と表示されています。
A: ご使用の HMI モデル及び OS バージョンは、本マニュアルの *PC Activator について*の中に、PC Activator がサポートしている項目であるかどうかを確認してください。

Q: 先ほどは OS バージョンを最新版に更新したが、以前アクティベートした HMI が見つかれなくなりました。同一の HMI を改めてアクティベートする必要がありますか？
A: EasyAccess 2 タブに[Refresh]ボタンを押し、この HMI は既にアクティベートされたものだったら、EasyAccess は自動的にアクティベーション状態に更新します。

Q: 私の HMI が故障したのでメーカーに送り修理してもらっています。代用の HMI に、元の EasyAccess 2.0 ライセンスを使用してもいいですか？
A: ウェブサイトのオンライン技術サポートサービスに連絡してください。

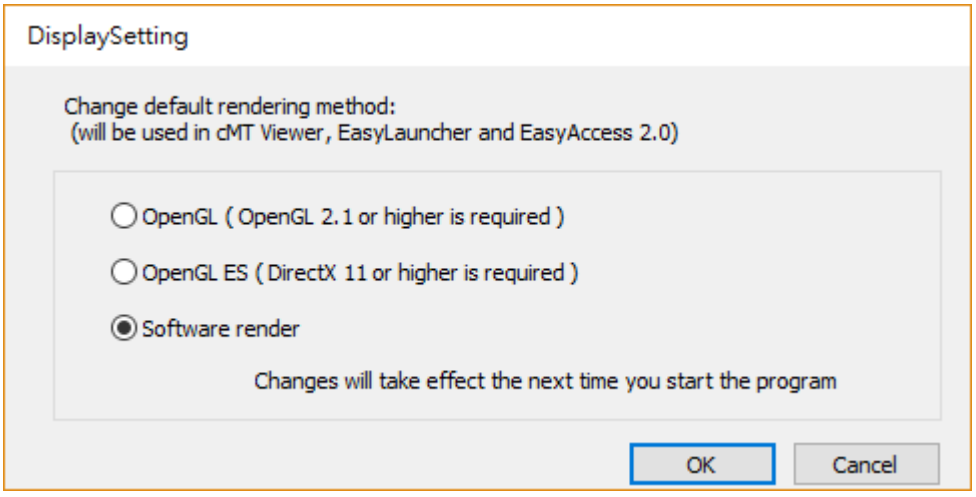
Q: EasyAccess 2 タブが見つかれません。
A: ご使用の HMI モデル及び OS バージョンは、本マニュアルの *PC Activator について*の中に、EasyAccess 2.0 がサポートしている項目であるかどうかを確認してください。

Q: EasyAccess 2 の中に、赤字で “connect to the server fails?”が表示されます。
A: この HMI はインターネットに繋がらないと示しています。インターネットの接続を確認し、それに IP アドレス、ゲートウェイ、DNS アドレスなどの設定を確認してください。
もし HMI のファームウェアは 20140814 の前のバージョンであれば、この赤字が現れる可能性もあります。これは、HMI 上のセキュリティ認証が期限切れになったと示し、よって EasyAccess 2.0 が実行できません。EasyAccess2.0 を使用するには、下記の手順で認証を更新してください：

1. 最新バージョンの EasyBuilder Pro の中に、EasyAccess 2.0 プロジェクトを HMI にダウンロードします(或いは LW-10820 に 1 を書き込めるプロジェクト)。ダウンロードする時、EasyAccess 2.0 のチェックボックスにチェックマークが入れられたことを確認してください。
2. HMI に[Connect]ボタンを押し(または LW-10820 を 1 に設定する)、HMI のセキュリティ認証を更新します。
3. システム情報ページでアクティベーション状態を確認します。

EasyAccess 2.0

Q: PC で EasyAccess 2.0 を実行する時、画面に不明な図形が表示されます。例えば白い斑点がたくさんあったり、部分の字が消えたりすることになります。
A: ご使用の PC が完全に EasyAccess 2.0 クライアントプログラムが使用する作画方法をサポートできないかもしれません。Display Setting プログラムを実行し、最も相応しい設定方式を選択してください。



Q: 使用している PC の OS は Windows 8 ですが、このソフトウェアを実行する

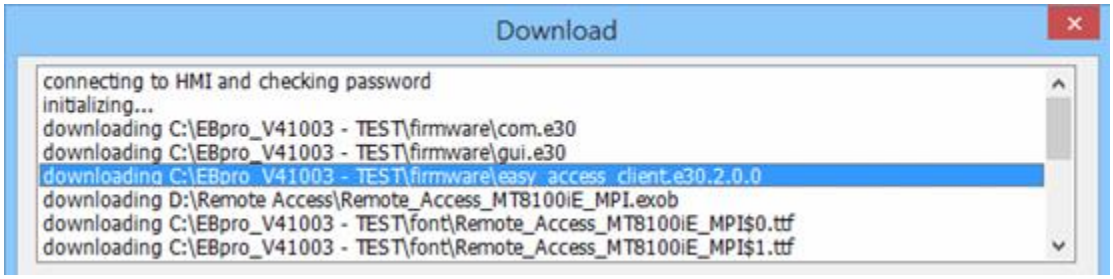
と、SmartScreen がこのソフトウェアを実行するとリストを起こす可能性があるとのメッセージを表示しました。

A: 正規ルート(例えば直接に弊社から購入、または正規代理店を通じて購入)で弊社のソフトウェアを購入した場合、本ソフトウェアを実行することは安全です。""More info"をクリックし、そして"Run Anyway"を選択してください。

Q: LW-10820 で EasyAccess 2.0 を接続するのを試していたが、動作がありませんでした。

A: 以下では幾つかの可能性を挙げます。

1. 1.EasyAccess のクライアントプログラムが HMI に存在しているのかを確認してください。プログラムが存在していない場合、EasyBuilder Pro のバージョン、及び easy_access_client.e30 ファイルは firmware フォルダーに存在しているのかを確認してください。



2. HMI の時刻設定が不正確かもしれません。HMI に設定された時刻が現在時刻との差が多すぎると、セキュリティ認証が期限切れになったと判定される可能性があり、接続が失敗してしまいます。

Q: どのように EasyAccess 2.0 を更新すればいいですか? 定期に最新バージョンを提供しますか?

A: はい、Weintek はユーザーに更新させるため、定期に新機能及びバッグフィックスを含む最新バージョンを提供します。最新バージョンの PC、iOS、Android ソフトウェアでは、ウェブサイト、APP Store、Google Play Store 等から、最新版の EasyAccess 2.0 をダウンロード可能です。

HMI の EasyAccess クライアントプログラムは、最新版の EasyBuilder Pro プロジェクトをダウンロードした後、自動的に更新されます。EasyBuilder Pro は HMI の EasyAccess 2.0 クライアントプログラムと EasyBuilder Pro のインストールファイルが内蔵した EassAccess2.0 プログラムを比較し、もし HMI 内のバージョンがより古い場合、EasyBuilder Pro はそれを自動的に更新します。

Q: 全ての設定が正確で HMI が中国エリアで接続済みと見られますが、時には接続できません。EasyAccess 2.0 サービスは地域に限られますか?

A: 中国大陸では、VPN が政府に管制されているので、EasyAccess 2.0 の接続が失敗する可能性があります。

アクセス地域	使用するサーバー	HMI の所在地	接続の品質
中国以外	グローバル	中国以外	良い
中国	グローバル	中国以外	影響される可能性がある
中国以外	グローバル	中国	影響される可能性がある
中国	グローバル	中国	影響される可能性がある
中国以外	中国	中国以外	影響される可能性がある
中国	中国	中国以外	影響される可能性がある
中国以外	中国	中国	影響される可能性がある
中国	中国	中国	良い

経験から見ると、ネットワーク通信で中国のファイアウォールを越す必要がある場合、接続が影響される可能性があります。このような状況では、Weintek P2P を無効にしないのがお勧めです。

Q: VPN IP が異なる Session の間に切替できることを見つかりました。これは正常なのでしょうか?

A: はい。これは正常な状況です。EasyAccess 2.0 の接続はユーザーの需要で作成されるもので、VPN IP は変わるかもしれません。PC 或いは Android 装置の場合、IP アドレスは 10.8 から始め、接続が P2P (point-to-point)モードで作成されたと示します。一般的には、P2P モードのほうは VPN よりデータ転送率が高いです。プログラムはカレントのネットワーク状態を基づいて P2P、VPN モードを選択します。

Q: アカウントにログインした場合、いつもアカウント/パスワードが正しくないエラーが出ます。

A: 正確なサーバーでログインしたかを確認してください。現在、グローバルと中国サーバーがあり、両者がそれぞれ独立したもので、管理するドメインの URL が異なります。EasyAccess 2.0 アプリケーションでは、接続するサーバーを選択するためのオプションがあります。

モバイルアプリケーション

Q: モバイル端末(Android)を使用し EasyAccess 2.0 クライアントとする場合、“EasyAccess 2.0 OVPN Connector”エラーが出ました。

A: ご使用の端末に OVPN がインストールされ、それに OVPN が認証、信頼されたものであることを確認してください。

Q: モバイル端末使用し EasyAccess 2.0 クライアントとする場合、“cannot open VNC”エラーが出ました。
A: ご使用の端末に VNC Viewe がインストールされ、それに VNC 設定ページで正確な VNC Viewer アプリケーションを選択したことを確認してください。

その他

既知の機種関連問題

1. cMT3090 に OS 20170320 または以前のバージョンを使用すれば、EasyAccess 2.0 の速度がより遅くなる問題があります。新バージョンに更新することをお勧めします。

18. Diagnosis

TCP 接続テスト

EasyAccess 2.0 VPN で接続する場合、数個の TCP 接続がご使用の HMI または PC から Weintek の VPN サーバーに接続します。
PC の場合、分析ツール ea_test.zip をダウンロードしてどのサーバーに接続したかを確認できます。
HMI の場合、HMI が以下の VPN サーバーに接続できるかを確認してください：

- ireland.wvpn.ihmi.net
- japan.wvpn.ihmi.net
- us.wvpn.ihmi.net

エラーが発生した場合、ネットワーク設定(例えばファイアウォール等)を確認してください。
対処する仕方がわからない場合、弊社のオンラインカスタムサービスを連絡してください。

グローバルサーバーをご使用の場合、URL は：https://account.ihmi.net
中国サーバーをご使用の場合、URL は：http://www.easyaccess.cn

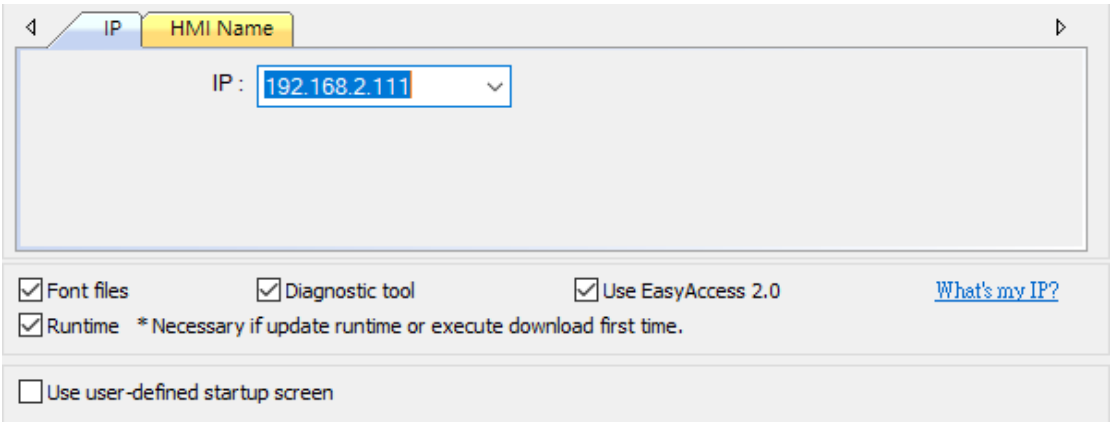
DNS テスト

dns_check.zip をダウンロードし、圧縮ファイルを解凍してください。

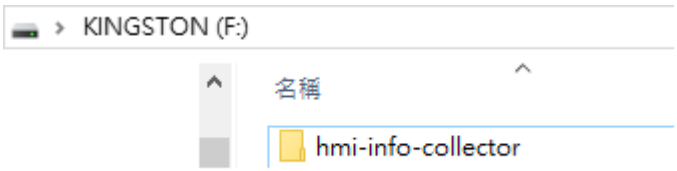
19. HMI Info Collector

HMI 情報コレクタ

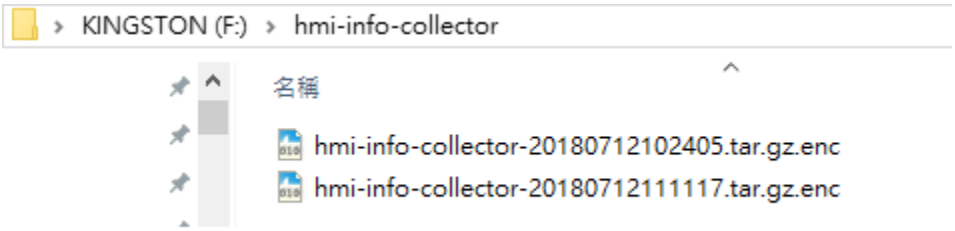
最新の EasyBuilder Pro をダウンロードしてください(バージョン要件: V6.01.02 以降)。
改めてプロジェクトを HMI にダウンロードしてください。“Diagnostic tool”及び“Use EasyAccess 2.0”にチェックを入れたことを確認してください(cMT シリーズ機種は自動的にダウンロードし、設定を行う必要がありません)



USB ディスクを用意し、その中で“hmi-info-collector”と名づけるフォルダを新規追加してください。

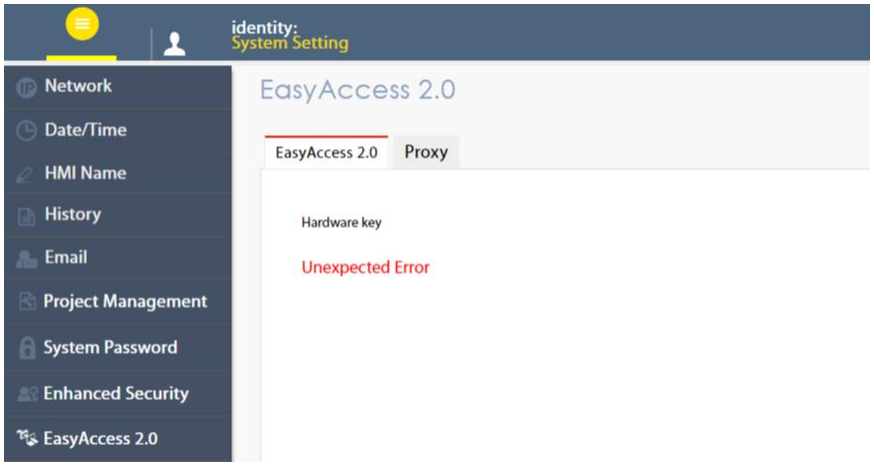


USB ディスクを HMI に挿入し、2 回のビープ音が聞こえた後、USB を取り外し、そして“hmi-info-collector”フォルダ内のファイルを弊社まで送付してください。



20. 既知の問題

1. EasyAccess 2.0 で cMT Viewer を利用して cMT HMI を確認する際に、プロジェクトのアップロード速度が遅く、アップロード過程でエラーが発生しました。
   - cMT3090 / cMT3072 を使用した場合、OS をバージョン 20171024 に更新してください。
   - 他の cMT HMI を使用した場合、OS をバージョン 20170713 に更新してください。
2. EasyAccess 2.0 のウェブページに"Unexpected Error”(未知のエラー)メッセージが表示されました。
   - DNS またはゲートウェイの設定が正確かどうかを確認してください。



21. 付録

専門用語

(接続の状態) オンライン (Online)
一台の HMI がオンライン状態にいる時、キープアライブという情報をキープアライブサーバーに送信し、これにより、全ての EasyAccess 2.0 クライアント側もその HMI は接続の準備ができていることを知るようになります。
EasyAccess 2.0 クライアント側が当 HMI に接続しない限り、この状態のままではまだ接続していないことと示しています。

(接続の状態) 占有された (Occupied)
一人の EasyAccess 2.0 クライアント側が当 HMI に接続できなかったら、その HMI は既に**占有された**状態になっており、その接続が切断されていない限り、他のクライアント側は一切その HMI に接続することができません。

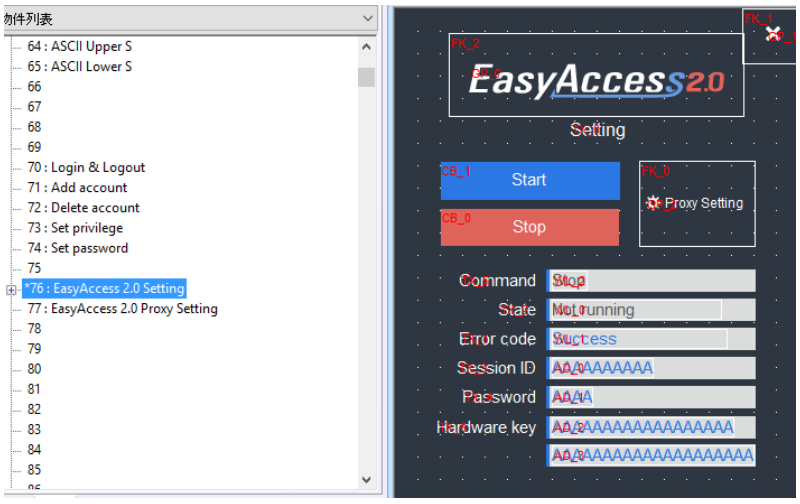
EasyBuilder Pro システムレジスタ

EasyBuilder Pro は下記 EasyAccess 2.0 と関連するシステムレジスタを提供します：

システムレジスタ	機能
LW-10820 (16bit)	EasyAccess 2.0 を無効/有効にする
	0: 無効にする 1: 有効にする
LW-10828 (16bit)	EasyAccess 2.0 の実行状態
	0: 無効にする 1: オフライン 2: オンライン 3: 占有された 4: 更新をダウンロード中
LW-10829 (16bit)	最終エラーコード HMI が EasyAccess 2.0 に通信し始めた時、下記のエラーコードがエラー状態の関連情報を提供します。
	0: 成功した(通信が成功した) 1: まだアクティベートされていない(本 HMI にはまだ EasyAccess 2.0 機能をアクティベートしていない) 2: ログインタイムアウト(アウトバウンド接続が切断さ

システムレジスタ	機能
	れた、またはサーバーが停止した) 3: 認証期間が過ぎた(ラインセンスキーの有効期間が過ぎたので、購入先に連絡してください) 4: クライアントプログラムの準備が整えない(頻繁にオープンしたり閉じたりする時には発生される) 5: クライアントプログラムが更新される(更新がダウンロードされ、準備完了になった) 6: クライアントプログラムが HMI に存在しない(クライアントプログラムは HMI のメモリーに存在しない)
LW-10821	Session ID(HMI をドメインに参加させるために用いられる) (5 words, ASCII)
LW-10826	パスワード(HMI をドメインに参加させるために用いられる) (2 words, ASCII)
LW-11210	HW Key (20 words)
LW-11296 (16bit)	EasyAccess 2.0 サーバー位置 0: グローバル 1: 中国

Note EasyBuilder Pro のテンプレートの中には、上記システムレジスタを使用したサンプルプロジェクトが含まれています。ファイルを新規作成する時に、下記プロジェクトを利用し、スムーズにプログラムのデザインを完成できます。本マニュアルの付録をご参考ください。

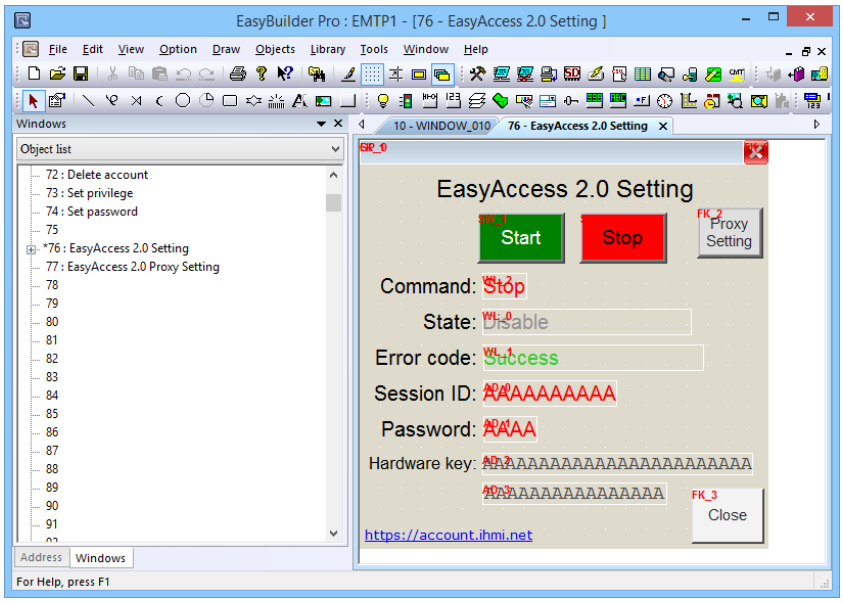


テンプレート内の EasyAccess ページ

EasyAccess 2.0 プロジェクトテンプレート

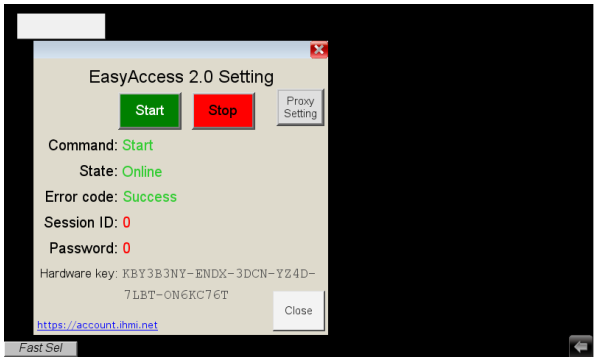
EasyBuilder Pro の中では、ユーザーに EasyAccess 2.0 設定ページを準備させるために、プロジェクトのテンプレートが備えています。利用する手順は下記の通りです：

1. テンプレートを使用し、新規プロジェクトを作成し、76 番ウインドウをオープンします。下記の通り表示されます。



2. 10 番ウインドウの中に、76 番ウインドウのポップアップ用で[ファンクションキー]オブジェクトを入れます。

3. プロジェクトを HMI にダウンロードします。
4. HMI の上に、先ほど入れた[ファンクションキー]をクリックします。
5. [Start]ボタンを押します。もし HMI のネットワーク設定が正確であれば、この時は下図に示す通り、オンライン状態になります。



Windows は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Android は Google Inc.の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
iOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標です。
本ドキュメントに記載されている各社名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
本ドキュメントの記載内容は、予告なく変更する場合があります。
Copyright© 2019 Weintek Lab., Inc. All rights reserved.